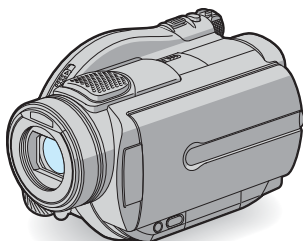
SONY

2-661-367-**03**(1)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

DCR-DVD505

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→135～138ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら		❶ **電源を切る** ❷ **電池を外す** ❸ **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**

❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**

❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**

❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には、2種類の取扱説明書があります。

- ハンディカムの取扱説明書（本書）
- パソコンと接続して使用するための「ファーストステップガイド」（付属CD-ROM内）

本機で使えるディスクについて

本機で使用できるディスクは
8cm DVD-R、8cm DVD-RW、
8cm DVD+RWのみです。
下記のマークのついたディスクをお使いください（詳しくは12ページ）。

本機で使える"メモリースティック"について

"メモリースティック"のサイズには2種類あります。本機では、MEMORY STICK DUO（"メモリースティック　デュオ"）、MEMORY STICK PRO DUO（"メモリースティック　プロ　デュオ"）マーク付きの"メモリースティック　デュオ"が使えます（詳しくは127ページ）。

"メモリースティック　デュオ"（本機で使用するサイズ）

"メモリースティック"（本機では使用できません）

- "メモリースティック　デュオ"以外のメモリーカードは使用できません。
- "メモリースティック　PRO"、"メモリースティック　PRO　デュオ"は"メモリースティック　PRO"対応機器でのみ使用可能です。

"メモリースティック　デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合

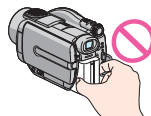
必ず"メモリースティック　デュオ"をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。

**メモリースティック
デュオ　アダプター**

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

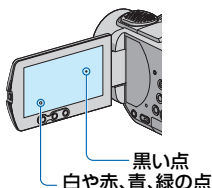
- 次の部分をつかんで持たないでください。

ファインダー

液晶画面

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください（130ページ）。
- 本機の電源ランプ（20ページ）やアクセスランプ（24ページ）が点灯中に次のことをすると、ディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取り外す
  - 本機に衝撃や振動を与える
- USBケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

セットアップ項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるセットアップ項目などは、その撮影/再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。DVD-Rでは1度記録した内容は消去できませんので、ためし撮りにはDVD-RW/DVD+RWのご使用をおすすめします（12ページ）。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権保護のための信号が記録されている映像を本機で録画することはできません。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものと異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書では8cm DVDを「ディスク」と表現しています。
- お使いになるディスクの種類によっては、できない操作があります。その場合には、対応しているディスクを下記のようなマークで記載しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT＊コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

DVDハンディカムで楽しむために

準備する

シンプル操作－自動設定でかんたんに使う

撮る／見る

DVDプレーヤーやDVDドライブで見る

記録済みのディスクを使う

次のページへつづく➡

設定を変更する

本機で編集する

ダビングやプリントをする

パソコンとつなぐ

困ったときは

その他

安全のために 135

用語集・索引

DVDハンディカムで楽しむために

DVDハンディカムでできること

DVDハンディカムは、8cm DVD*に画像を記録します。
テープとは違うDVDならではの便利さや楽しみが広がります。

「撮る、見る」が簡単、きれい

頭出しせずに撮影できる
（30、36ページ）

撮影した画像はディスクの空いたスペースに記録されるので、大切な画像に誤って上書きしてしまう心配はありません。

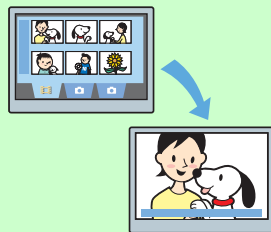
撮影前に巻き戻しや早送りの必要がないので、撮りたいときに撮影を始められます。

1枚のディスクに動画も静止画も記録できます。

- 静止画はディスクまたは“メモリースティック　デュオ”に記録できます。

ビジュアルインデックスで見たいシーンをかんたんに再生
（32、38ページ）

ディスクの内容を一覧表示できるビジュアルインデックス機能で、**見たい画像をタッチするだけで再生が始まります。**

ディスクなら再生を繰り返しても、劣化はほとんどありません。大切な思い出を長期間保存できます。

ワイド撮影や5.1chサラウンド記録もできる
（27、40ページ）

ワイドテレビと同じ16：9の画角で見られるワイド液晶画面で、高画質なワイド画像を撮影できます。また、臨場感あふれる5.1chサラウンド音声を、ディスクに直接記録して楽しめます。

---

* DVD（Digital Versatile Disc（デジタル ヴァーサタイル ディスク））とは、画像を記録できる大容量光ディスクです。

撮影したディスクはいろいろな機器で楽しむ

DVDプレーヤーやDVDドライブで再生（34、50ページ）

撮影が終わったディスクは、ファイナライズ**をして、8cm DVDの再生に対応した家庭用のDVDプレーヤー、DVDレコーダー、パソコンのDVDドライブなどで再生できます。

ファイナライズ時には、DVD機器で見られる静止画のスライドショーや、見たい画像をすぐに選べるDVDメニューを作成できます。

ワイドTVやホームシアターで再生（40、48ページ）

ワイド撮影した画像は、ワイドTVでパノラマ感たっぷりに再生できます。また5.1chサラウンド記録したディスクは、ホームシアターなどで迫力のある音声を楽しめます。

パソコンとつないで楽しむ

画像を高速転送（95ページ）

パソコンとの高速アクセスができます。ディスクを再生しなくても、スピーディーにパソコンへ画像を取り込めます。Hi-Speed USB（USB 2.0）に対応しているパソコンをお使いの場合は、より高速な画像転送が可能です。

付属のソフトで画像を編集・コピー（95ページ）

付属のソフトウェア「Picture Package」を使えば、撮った画像にBGMを入れたり、効果を加えたりして、自分だけのオリジナルディスクが作れます。また、ディスクのコピーも簡単にできるので、いろいろな人に楽しんでもらえます。

** ファイナライズとは、撮影した後、画像を記録したディスクを他のDVD機器などで再生できるようにする互換処理のことです（34、50ページ）。

使用できるディスクについて

DVDハンディカムでは、直径8cmのDVD-R、DVD-RW、DVD+RWが使えます。
12cmディスクは使えません。

DVD-RWの記録フォーマットについて

DVD-RWは、VIDEOモードとVRモードの2つの記録フォーマットが選べます。
本書では、VIDEOモードは VIDEO で、VRモードは VR で表しています。

VIDEO	他のDVD機器との再生互換に優れた記録フォーマットです。ファイナライズをすれば、ほとんどのDVD機器で再生できます。 **VIDEOモードでは直前に撮影した画像以外は削除できません。**
VR	DVDハンディカムでの編集(画像の削除や並び替え)を可能にする記録フォーマットです。 ファイナライズをすれば、VRモードに対応したDVD機器*1で再生できます。

ディスク、記録フォーマット ☞ 用語集(139、140ページ)へ

それぞれのディスクの特徴

( )は参照ページ

ディスクの種類とマーク		DVD-R	DVD-RW		DVD+RW
		DVD R	DVD RW		RW DVD+ReWritable
本書で使用しているマーク		DVD -R	DVD -RW VIDEO	DVD -RW VR	DVD +RW
ワイド(16:9)と4:3の動画を同じディスクに撮影できる*2	(27)	●	●	●	—
撮影直後の画像を削除できる	(44)	—	●	●	●
画像を自由に削除できる	(83)	—	—	●	—
本機で画像の編集ができる	(83)	—	—	●	—
容量がいっぱいになっても初期化*3して繰り返し使用できる	(58)	—	●	●	●
ファイナライズして他のDVD機器で再生できる	(34、50)	●	●	●*1	●
ファイナライズしなくても、他のDVD機器で再生できる	(50)	—	—	—	●*4
ファイナライズ時にDVDメニューを作成できる	(53)	●	●	—	●

*1 再生機器がDVD-RWのVRモードに対応しているかは、お使いの機器の取扱説明書でご確認ください。

*2 静止画の場合は、全ての種類のディスクで可能です。

*3 初期化とは、撮影したすべての画像を一括削除し、記録容量を元に戻すことです(58ページ)。新しいディスクを使用する場合も本機で初期化を行います(24ページ)。

*4 **ファイナライズしていないDVD+RWは、パソコンのDVDドライブでは再生しないでください。**故障の原因になります。

撮影可能時間について

ディスク片面あたりの録画時間の目安
( )内は最低録画時間

録画モード	録画時間
HQ(高画質)	約20(18)分
SP(標準画質)	約30(18)分
LP(長時間)	約60(44)分

DVDハンディカムは、撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しているため、ディスクへの録画時間は変動します。
動きの速い映像はディスクの容量を多く使い鮮明な画像を記録するので、録画時間は短くなります。
VBR☞用語集(139ページ)へ

- 同じディスクに動画と静止画を記録した場合は、動画の録画時間が短くなります。

使用ディスクについてのご注意

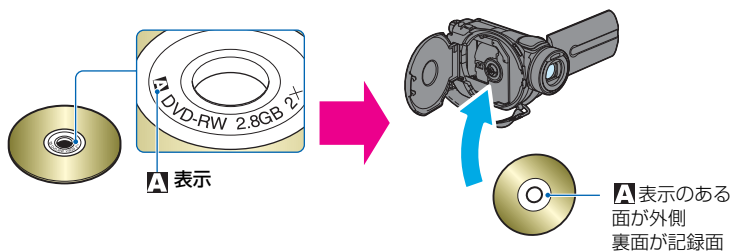
記録/再生における信頼性、耐久性の面から、ソニー製ディスク、またはビデオカメラでの使用に適したfor VIDEO CAMERA(for VIDEO CAMERA)マークの付いたディスクのご使用をおすすめします。

- 上記以外のディスクを使用した場合は、正常な記録/再生や、ディスクの取出しができなくなる可能性があります。

両面ディスクのご使用について

両面ディスクは、表面と裏面の両方に記録できます。

A面に記録する場合

ディスク中心部にA表示のある面を外側にしてハンディカムに「カチッ」というまで押し込みます。

- 両面ディスクを使用する場合は、特に指紋がつかないようにご注意ください。
- ハンディカムに両面ディスクを取り付けたまま、記録/再生面を切り換えることはできません。片面の記録/再生が終わったら、1度ディスクを取り出し、裏返しにして再び取り付けてください。
- 下記の操作は両面ディスクの各面に対して行ってください。
  – ファイナライズ(50ページ)
  – ファイナライズ解除(DVD-RW:VIDEOモード)(57ページ)
  – 初期化(58ページ)

DVDハンディカムの使い方の流れ

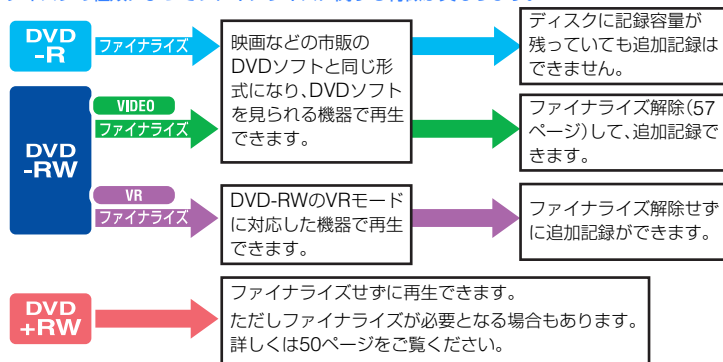
右のページへ続く

④他のDVD機器で見る

（50、54ページ）

本機で撮影した画像を他のDVD機器で見るためには、**ファイナライズ**（互換処理）が必要です。

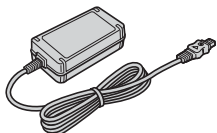
- ディスクの記録容量が少ないほどファイナライズに時間がかかります。

ディスクの種類によってファイナライズに関する特徴が異なります。

再生の互換性について

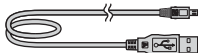
すべての機器での再生を保証するものではありません。再生機器との互換性は、お使いの機器の取扱説明書でご確認いただくか、お買い上げ店へお問合せください。
ソニー製品との互換性は、下記のホームページでご確認ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

準備1:付属品を確かめる

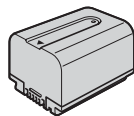
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。
- ディスクと"メモリースティック　デュオ"は別売りです。

ACアダプター(1)(17ページ)

電源コード(1)(17ページ)

AV接続ケーブル(1)(48、88、90、94ページ)

USBケーブル(1)(92、94ページ)

ワイヤレスリモコン(1)(47ページ)

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

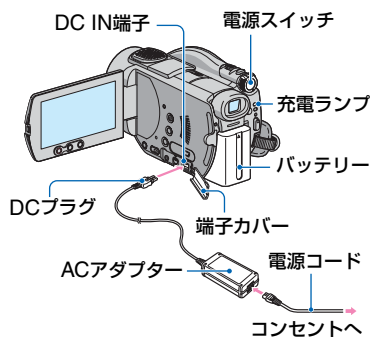
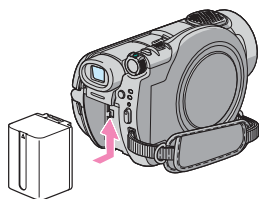
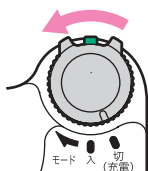
リチャージャブルバッテリーパック NP-FP60(1)(18ページ)

クリーニングクロス(1)

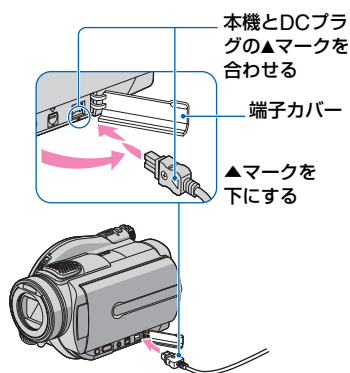
CD-ROM「Picture Package Ver.1.8.1」(1)(95ページ)

取扱説明書 <本書>(1)

保証書(1)

準備2：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー（Pシリーズ）（129ページ）を本機に取り付けて充電します。

1 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

2 電源スイッチを「切（充電）」（お買い上げ時の設定）にする。

3 ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。

端子カバーを開け、ACアダプタープラグをつなぐ。

4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

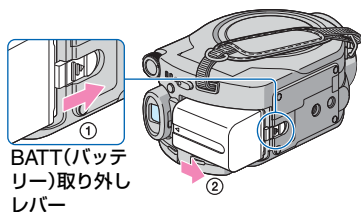
充電ランプが点灯し、充電が始まる。

5 充電ランプが消え、充電が終わったら（満充電）、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

- 本機とDCプラグを持って抜いてください。

次のページへつづく→

バッテリーを取り外すには

電源スイッチを「切（充電）」にする。
BATT（バッテリー）取り外しレバーをずらしながら、バッテリーを取り外す。

- バッテリーは、本機の電源ランプ（20ページ）が点灯していないことを確認してから取り外してください。

保管するときは

長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する（129ページ）。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

充電時間（満充電）

使い切った状態からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FP50	125
NP-FP60（付属）	135
NP-FP70	155
NP-FP71	170
NP-FP90	220

撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FP50	55 60 60	25 25 25
NP-FP60（付属）	90 95 95	40 45 45
NP-FP70	125 130 135	60 60 65
NP-FP71	150 155 160	70 75 75
NP-FP90	225 235 240	110 115 115

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

- それぞれの時間は次の条件によるものです。
  上段：液晶画面バックライトが「入」のとき
  中段：液晶画面バックライトが「切」のとき
  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用時

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FP50	60	65
NP-FP60(付属)	95	100
NP-FP70	130	140
NP-FP71	155	170
NP-FP90	235	255

* 液晶画面バックライトが「入」のとき。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切(充電)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(43ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき(バッテリーインフォ表示のみ)
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FP70、NP-FP71またはNP-FP90でのご使用をおすすめします。

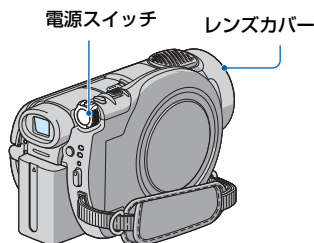
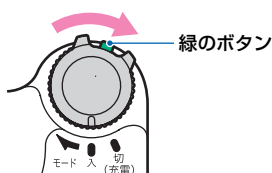
充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃(10～30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

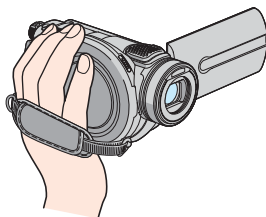
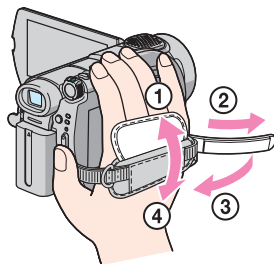
準備3:電源を入れて正しく持つ

撮影時は、電源スイッチを操作してランプを点灯させます。
初めて電源を入れると自動的に[日時あわせ]になります（23ページ）。

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向にずらして、本機の電源を入れる。

本機を操作するときは、該当のランプが点灯するまで、電源スイッチを矢印の方向へ繰り返しずらす。

（動画）:動画を撮影するとき

（静止画）:静止画を撮影するとき

- 本機の電源を入れると自動的にレンズカバーが開き、電源を切ると閉まります。
- [日時あわせ]（23ページ）を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

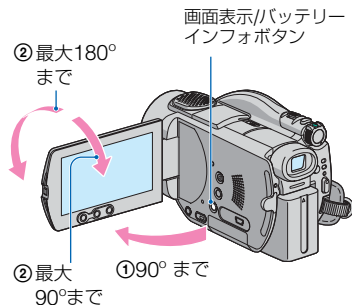
2 本機を正しく構える。

3 ベルトをしっかりと締める。

電源を切るには

電源スイッチを「切（充電）」にする。

- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、76ページ）。

準備4：液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

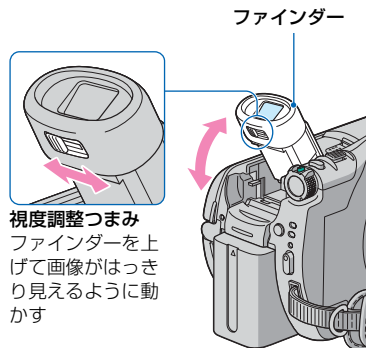
液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面下のボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 液晶画面を開いた状態でレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。

液晶画面バックライトを暗くしてバッテリーを長持ちさせるには

画面表示/バッテリーインフォボタンを が表示されるまで数秒間押したままにする。
明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響ありません。
解除するには、 が消えるまで画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにする。

- 液晶画面の明るさは、[パネル・VF設定]-[パネル明るさ]（74ページ）で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

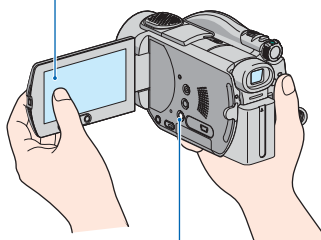
バッテリー切れが心配なときや、液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

視度調整つまみ
ファインダーを上げて画像がはっきり見えるように動かす

- ファインダーのバックライトの明るさは、セットアップ項目の[パネル・VF設定]-[VFバックライト]で設定できます（74ページ）。録画される画像には影響ありません。
- ファインダーを見ながら、[フェーダー]や[カメラ明るさ]を調節できます（64、70ページ）。

準備5：タッチパネルを操作する

撮影した画像を再生するときや（32、38ページ）、設定を変更するとき（60ページ）は、液晶画面をタッチして操作します。

液晶画面の背面を手で支えながら画面上のボタンを指で軽くタッチする（触れる）。

画面のボタンを
タッチする

画面表示/バッテリーインフォボタン

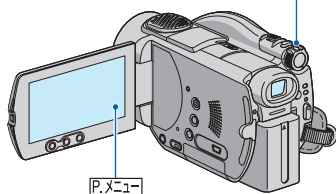
- 液晶画面下にあるボタンを押すときも同様に操作します。
- タッチパネルを操作するときに、液晶画面下にあるボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 反応するボタンの位置がずれているときは、画面調節（キャリブレーション）してください（130ページ）。

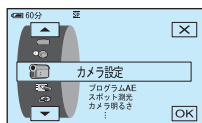
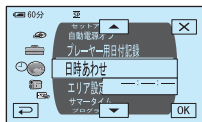
画面表示を消したいときは

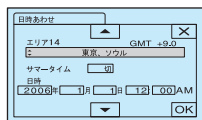
画面表示/バッテリーインフォボタンを押す。押すたびに、カウンターなどの情報が表示↔非表示と切り換わる。

準備6：日付時刻をあわせる

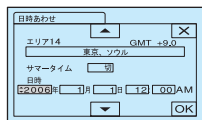
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]が表示されます。

- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（132ページ）。

初めて時計をあわせるときは、手順4から操作する。

1 P.メニュー→[セットアップ]をタッチする。

2 ▲/▼で 時間設定を選び、OKをタッチする。

3 ▲/▼で[日時あわせ]を選び、OKをタッチする。

4 ▲/▼でエリアを選び、OKをタッチする。

5 ▲/▼でサマータイムを設定し、OKをタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

6 ▲/▼で[年]をあわせ、OKをタッチする。

- 2079年まで設定できます。

7 同様に、[月]、[日]、時、分をあわせ、OKをタッチする。

時計が動き始める。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

- 世界時刻表は125ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にディスクに記録され、再生時に表示させることができます（[日時/カメラデータ表示]、75ページ）。

準備7：ディスクや"メモリースティック　デュオ"を入れる

ディスクを入れる

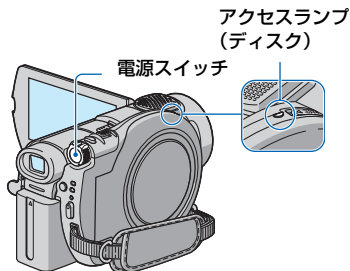
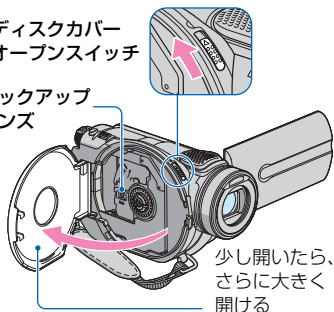
新しい8cm DVD-Rまたは8cm DVD-RW、8cm DVD+RWのいずれかを用意します（12ページ）。

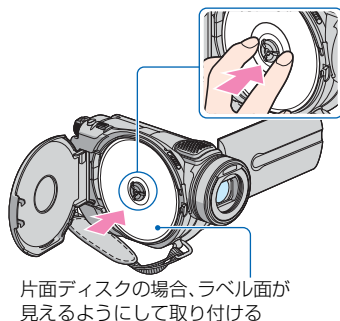
- **ディスクに付着した指紋や汚れは、付属のクリーニングクロスで拭き取っておいてください（126ページ）。**

1 本機の電源が入っていることを確認する。

- ACアダプターやバッテリーが取り付けてある場合は、電源を入れなくてもディスクを出し入れできます。ただしディスクの認識（手順**4**）は行いません。

2 ディスクカバーオープンスイッチを矢印（開く▶）の方向へずらす。

[取り出し準備中]と表示され、チャイムの後に「ピッピッ」という音が鳴ります。音が鳴り終わると、自動的にディスクカバーが少し開く。

- 手や物がカバーの開閉の妨げにならないようにご注意ください。ベルトは、本機の下側にずらして操作してください。
- ディスクカバーを閉じるときにベルトをはさむと、故障の原因になります。

3 ディスクの記録面を本機側にして、「カチッ」というまで押し込む。

- 手がディスクの記録面やピックアップレンズに触れないようにしてください（131ページ）。両面ディスクを使用する場合は、特に指紋がつかないようにご注意ください。
- ディスクが正しく取り付けられていない状態でディスクカバーを閉じると、故障の原因となります。

4 ディスクカバーを閉じる。

[ディスク認識中]と表示される。認識に時間がかかることがあります。

■DVD-Rのとき

[ディスク認識中]の表示が消えたら、撮影を始められます。手順**5**以降の操作は不要です。

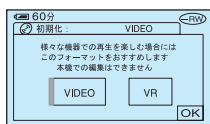
■DVD-RWのとき

記録フォーマットを選び、初期化します。手順**5**に進む。

■DVD+RWのとき

動画の比率を選び、初期化します。手順**6**に進む。

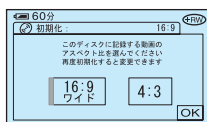
- シンプル操作に設定中(29ページ)は、[初期化しますか?]と表示されます。OKをタッチして手順**8**へ進んでください。

5 DVD-RWの記録フォーマットを選び、OKをタッチし、手順7に進む。

■VIDEOモード

ファイナライズすると、ほとんどのDVD機器で再生できる記録フォーマットです。

■VRモード

本機上で不要な画像を削除したり、動画を分割するなど簡易編集ができます(83ページ)。ファイナライズすると、VRモード対応のDVD機器で再生できる記録フォーマットです。

6 DVD+RWの動画の比率を[16:9 ワイド]または[4:3]から選び、OKをタッチ。

■16:9　ワイド

広角で高画質なワイド画面で撮影します。ワイドテレビで再生するときは[16:9　ワイド]に設定することをおすすめします。

■4:3

4:3テレビで再生するときに設定します。

7 [はい]→[はい]をタッチ。

8 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチ。

初期化が完了すると、DVD-RW/DVD+RWも撮影を始められます。

- 初期化中にバッテリーやACアダプターなどの電源を取り外さないでください。

ディスクを取り出すには

手順**1**~**2**を行ってディスクカバーを開き、ディスクを取り出す。

- アクセスランプの点灯中や点滅中、または[ディスク認識中]/[取り出し準備中]と表示されているときは、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。
- 記録内容によっては、取り出しに時間がかかることがあります。

次のページへつづく➡

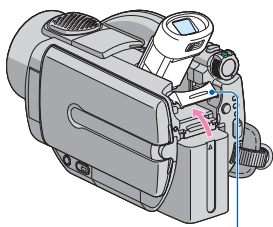
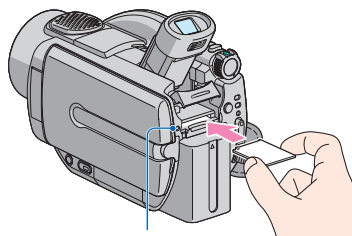
- ディスクに傷や汚れがついていると、取り出しに10分程度かかることがあります。その場合、ディスクが壊れている可能性があります。
- ディスクの認識後、ディスクタイトルや使用開始日時、記録済みエリアなどのディスクに関する情報が約8秒間表示されます。記録済みエリアの情報は、ディスクの状態によっては正しく表示されないことがあります。
- DVD-RW/DVD+RWで、過去に記録した内容をすべて削除し、新たにディスクに記録するには、「ディスクの画像をすべて削除する（初期化）」（58ページ）をご覧ください。

"メモリースティック　デュオ"を入れる

MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO
マーク付き"メモリースティック　デュオ"のみ使えます（127ページ）。

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については68ページをご覧ください。

1 ファインダーを上げる。

2 メモリースティック　デュオカバーを開く。

3 "メモリースティック　デュオ"を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

- 誤った向きで無理に入れると、"メモリースティック　デュオ"やメモリースティック デュオスロット、画像データが破損することがあります。

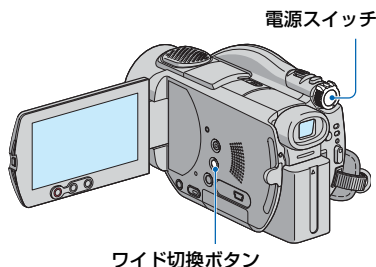
4 メモリースティック　デュオカバーを閉め、ファインダーを下げる。

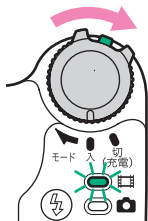
"メモリースティック　デュオ"を取り出すには

手順**1**～**2**を行い、"メモリースティック　デュオ"を軽く1回押して取り出す。

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、"メモリースティック　デュオ"やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 出し入れ時には"メモリースティック　デュオ"の飛び出しにご注意ください。

準備8：撮影する画像の比率（ワイド（16:9）/4:3）を選ぶ

- ワイドテレビで楽しみたいときは、ワイド（16:9）で撮影することをおすすめします。

動画の比率を選ぶ

1 電源スイッチを矢印の方向にずらして、（動画）ランプを点灯させる。

2 ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

ワイドのとき*

4:3のとき*

* 液晶画面で見たとき。ファインダーでは見えかたが異なります。

- 次の場合は、動画の比率を切り換えることはできません。
  – DVD+RWを使っているとき
  – 動画を撮影中
  – ［デジタルエフェクト］の［オールドムービー］（70ページ）に設定しているとき
- 次の場合は撮影可能時間が短くなることがあります。
  – DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）でワイド（16:9）と4:3を切り換えて撮影したとき
  – DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで4:3に設定中に［録画モード］（73ページ）を切り換えたとき

本機をテレビにつないで見るときは

ご覧になるテレビ（16:9/4:3）にあわせて、セットアップ項目の［TVタイプ］で画像の比率を設定する（48ページ）。

- ワイド（16:9）の画像を［TVタイプ］を［4:3］にして見ると、被写体によっては画像が粗く見える場合があります。

ディスクを本機から取り出して、DVDプレーヤー/DVDレコーダーで見るときは

再生する機器によっては、画像の見えかたが異なる場合があります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

次のページへつづく➡

静止画の比率を選ぶ

1 電源スイッチをずらして（静止画）ランプを点灯させる。

画像の比率が4：3に切り換わる。

2 静止画の記録先を選ぶ。

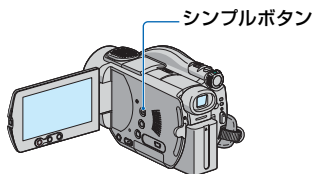
① P.メニュー →［静止画記録先］をタッチ。
② 静止画を記録するメディアを選び、OKをタッチ。

- お買い上げ時は［メモリースティック］に設定されています。

3 ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

- 静止画の画像サイズはワイド（16:9）のとき［3.0M］（3.0M）、4:3では最大で［4.0M］（4.0M）になります。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされます。
- 撮影可能枚数については、69ページをご覧ください。

シンプル操作で使う

シンプル操作とは、本機のシンプルボタンを押すだけでほとんどの設定を自動化する機能です。
撮影に必要なさまざまな調整は本機が自動で行うため、自分で細かい設定をする必要がありません。液晶画面の文字も大きく表示されて見やすくなるので、初めてお使いになるときでもより簡単に操作することができます。

シンプル操作中の本機の設定

[セットアップ]をタッチすると、設定可能なセットアップ項目が表示されます。
詳しい設定方法は60ページをご覧ください。

- ほとんどのセットアップ項目はシンプル操作特有の設定に自動で固定されます。
- シンプル操作中は P.メニュー は表示されません。
- お好みでピント合わせや画像に効果を加えるなどの設定をするときは、シンプル操作を解除してください。

シンプル操作中に使えないボタン/機能

ほとんどの機能は自動設定されるため、次のボタン/機能は使えません。

- 逆光補正ボタン（42ページ）
- 画面表示/バッテリーインフォボタンの長押し（43ページ）
- レビュー/レビュー削除（44ページ）
- 操作時に[シンプル操作中は無効です]が表示される機能

シンプル操作を解除するには

シンプルボタンをもう一度押す。画面上の シンプル 表示が消える。

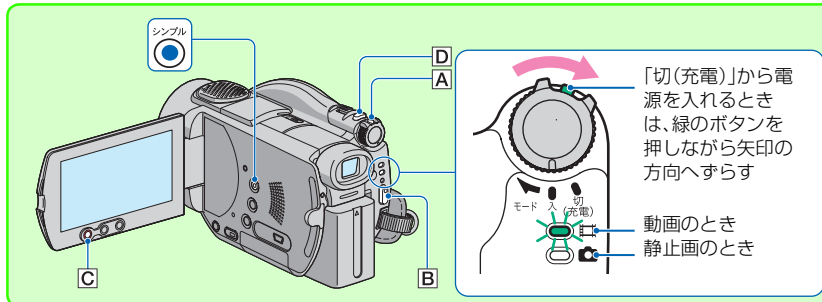
- シンプル操作の状態で本機の電源を切ると、次に電源を入れたときもシンプル操作に設定されています。

早速シンプル操作で撮影してみましょう

あらかじめ、準備1～8（16～27ページ）を行っておいてください。

- DVD-RWでは、シンプル操作中に次の通り固定されます。
  - VIDEOモードで初期化されます。VIDEOモードでは直前に撮影した画像以外は削除できません（12ページ）。
  - VRモードのディスクでも、本機での削除/編集（83ページ）ができません。

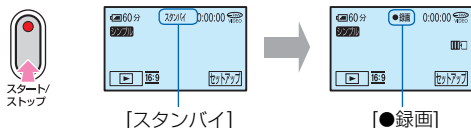
シンプル操作をしないときは、36ページに進んでください。

かんたんに撮る

動画を撮る

1 電源スイッチAを矢印の方向にずらして、(動画)ランプを点灯させる。

2 スタート/ストップボタンB(またはC)を押す。

- [録画モード]は[SP](お買い上げ時の設定)で記録されます(73ページ)。

[スタンバイ]　[●録画]

撮影をやめるときは、スタート/ストップボタンをもう一度押す。

次の画像を撮影するには

手順**2**を行う。

- ファイナライズ(57ページ)前で、ディスクに記録容量が残っていれば、以下の場合でも引き続き撮影できます。
  - いったん電源を切ったあと、もう1度入れたとき
  - 本機からディスクを取り出したあと、もう1度入れたとき

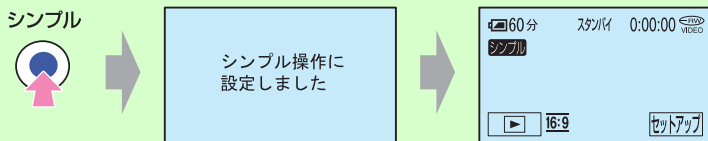
動画撮影中に高画素の静止画を記録するには(デュアル記録)

撮影中にフォトボタンDを深く押す。

- 一度の動画撮影で最大3枚記憶できます。動画撮影が終わると、記憶されていた静止画が"メモリースティック　デュオ"またはディスクに記録されます。
- デュアル記録について詳しくは、41ページをご覧ください。

操作の前に行ってください

本機の電源を入れ、シンプルボタンを押して、シンプル操作に設定します（29ページ）。

「シンプル操作に設定しました」と表示され、画面に シンプル が表示されます。

静止画を撮る

1 電源スイッチ[A]を矢印の方向にずらして、（静止画）ランプを点灯させる。

2 静止画の記録先を選ぶ。

① [セットアップ]→[静止画記録先]をタッチ。

② 静止画を記録するメディアを選び、[OK]をタッチ。
撮影画面に戻り、画面右上に撮影可能枚数と静止画記録先が表示される。

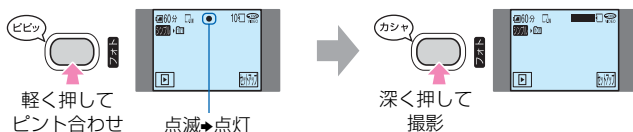
撮影可能枚数と
静止画記録先

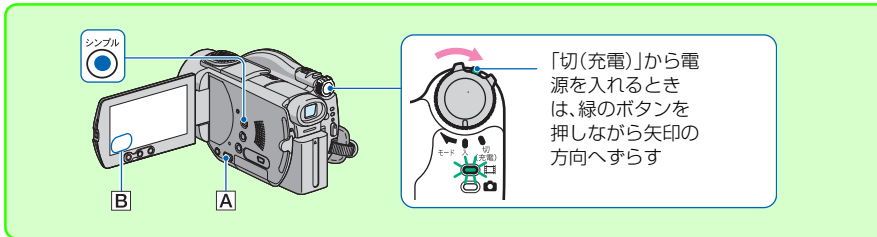
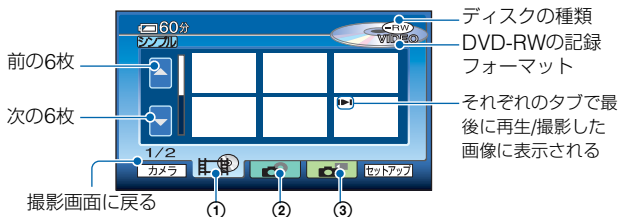
● お買い上げ時は[メモリースティック]に設定されています。

3 フォトボタン[D]を押す。

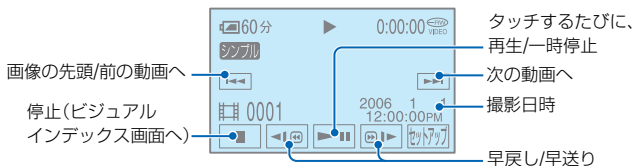
● [画質]は[FINE]（お買い上げ時の設定）で記録されます（68ページ）。

「カシャ」と鳴り、IIIIIIII が消えると記録される。

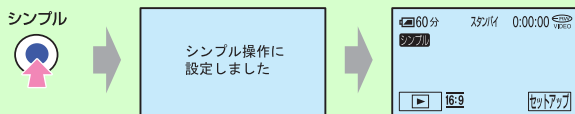
シンプル操作ー自動設定でかんたんに使う

かんたんに見る

1 見る/編集ボタンA(またはB)を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示される。

① タブ:動画を表示する。
② タブ:ディスクに記録した静止画を表示する。
③ タブ:"メモリースティック　デュオ"に記録した静止画を表示する。

- ビジュアルインデックスを表示するまでに時間がかかることがあります。
- タブを選んでいるときは、画面上で各動画の最初の5秒間を順番に再生します。

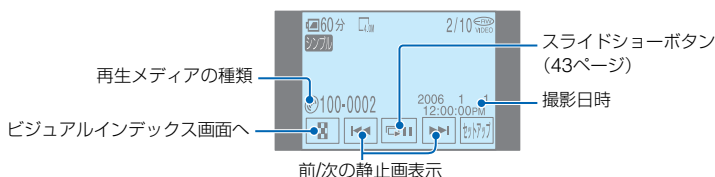
2 再生を始める。

タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

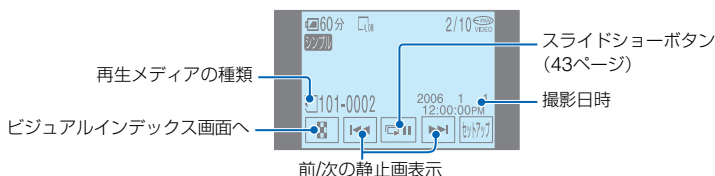
操作の前に行ってください

本機の電源を入れ、シンプルボタンを押して、シンプル操作に設定します(29ページ)。
「シンプル操作に設定しました」と表示され、画面に シンプル が表示されます。

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に [◄I ⏪]/[⏩ I►] をタッチするとスロー再生が始まります。
- I►Iが最後に再生した動画についているときにタッチすると、前回途中で止めた位置から再生できます。
- 動画の音量は[セットアップ]→[音量]をタッチし、[－]/[＋] で調節します。

静止画のとき

ディスクのときは:

タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

“メモリースティック デュオ”のときは:

をタッチし、見たい画像をタッチする。

- [⊡II] をタッチすると静止画を連続再生します(43ページ)。

- シンプル操作で再生中は、以下の操作はできません。
  – 再生ズーム(42ページ)
  – 液晶画面バックライトの切り換え(22ページ)

DVDプレーヤーなどで見るための操作（ファイナライズ）

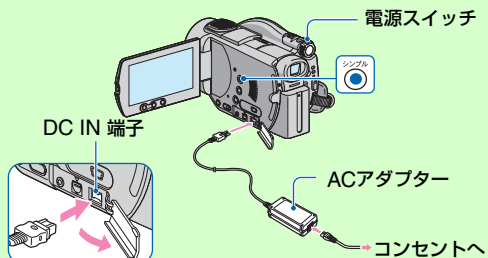
ファイナライズとは、画像を記録したディスクをDVDプレーヤーやパソコンのDVDドライブで再生できるようにする互換処理です。
シンプル操作では、以下のことを本機が自動で設定するため、ファイナライズが簡単に行えます。

– DVDプレーヤーなどで画像を一覧表示するDVDメニューを作成する
– DVDプレーヤーなどで静止画を再生するためのフォトムービーを作成する

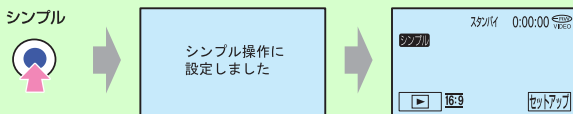
DVDメニュー、フォトムービー 用語集（139、140ページ）へ

- **DVD-Rは1度ファイナライズすると、ディスクの記録容量が残っていても再利用や追加記録はできなくなります。**
- **DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWは、ファイナライズするとシンプル操作での追加記録はできなくなります。追加記録するには、シンプル操作を解除してから、57ページの操作を行ってください。**

ファイナライズの準備をする

1 **本機を安定したところに置き、ACアダプターをDC IN端子とコンセントにつなぐ。**

- ファイナライズ中に電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。

2 **本機の電源を入れ、シンプルボタンを押して、シンプル操作に設定する（29ページ）。**

「シンプル操作に設定しました」と表示され、画面に シンプル が表示されます。

3 **ファイナライズしたいディスクを入れる。**

ファイナライズする。

液晶画面の表示を順にタッチ。

- ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ディスクの内容によっては、ファイナライズに時間がかかります。

ファイナライズが終わったら

ディスクを本機から取り出す。
DVDプレーヤーやDVDドライブなどで再生をお楽しみください。
再生機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

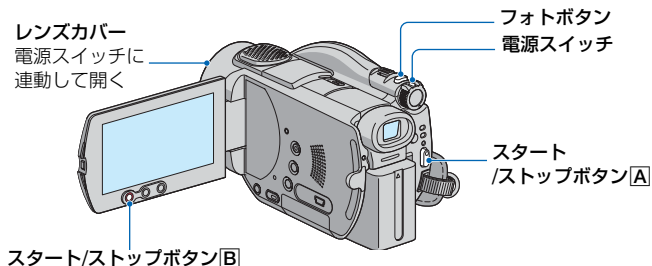
再生後、記録した画像をすべて削除する（初期化）

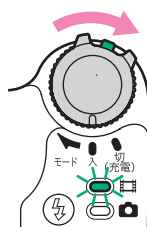
初期化するとディスクの記録容量が元に戻り、次の撮影に再利用できます。
DVD-RW（VRモード）で再利用したいときは、シンプル操作を解除して初期化を行ってください（58ページ）。

- **いったん削除した画像は、元に戻せません。ご注意ください。**

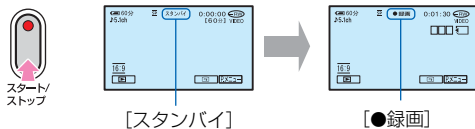
液晶画面の表示を、順にタッチ。

① [セットアップ]
② [初期化]
③ （DVD+RWのときのみ）[16:9ワイド]または[4:3]→ OK （25ページ）
④ [はい]
⑤ [はい]
⑥ OK

撮る

動画を撮る

1 電源スイッチを矢印の方向にずらして、(動画)ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときは、緑のボタンを押しながら矢印の方向へずらす

2 スタート/ストップボタンA(またはB)を押す。

[スタンバイ]　[●録画]

撮影をやめるときは、スタート/ストップボタンをもう1度押す。

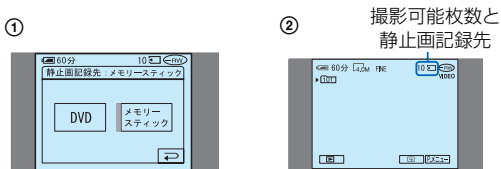
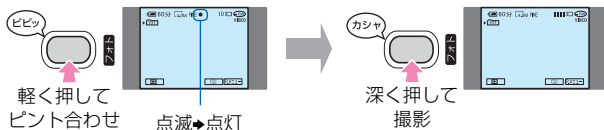
静止画を撮る

1 電源スイッチをずらして、📷（静止画）ランプを点灯させる。

2 静止画の記録先を選ぶ。

① P.メニュー →［静止画記録先］をタッチ。

② 静止画を記録するメディアを選び、OK をタッチ。
撮影画面に戻り、右上に選んだ記録先メディアが表示される。

- お買い上げ時は［メモリースティック］に設定されています。
- P.メニュー で見つからないときは［セットアップ］から選びます（60ページ）。

3 フォトボタンを押す。

「カシャ」と鳴り、IIIIIII が消えると記録される。

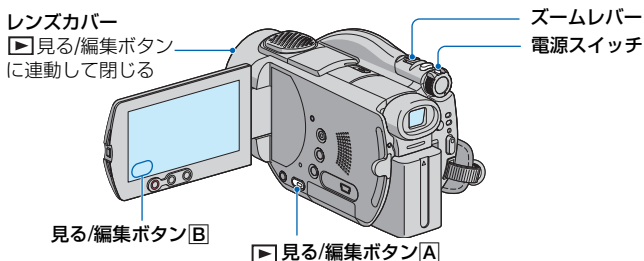
撮影した動画や静止画をすぐに確認/削除する（レビュー/レビュー削除）

44ページをご覧ください。

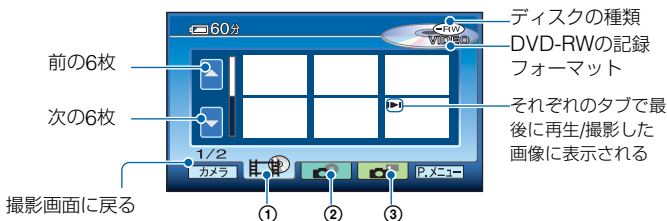
動画記録中に高画素の静止画を記録する（デュアル記録）

41ページをご覧ください。

- 撮影終了後にアクセスランプが点灯しているときは、ディスクや"メモリースティック デュオ"にデータを書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。

見る

1 **電源スイッチをずらして本機の電源を入れる。**

2 **見る/編集ボタンA(またはB)を押す。**

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

① タブ:動画を表示する。

② タブ:ディスクに記録した静止画を表示する。

③ タブ:"メモリースティック　デュオ"に記録した静止画を表示する。

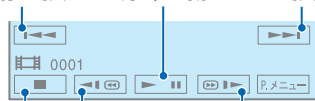
• ビジュアルインデックス画面の表示には、数秒かかります。

ビジュアルインデックスの便利な機能

• ズームレバーを動かすと、ビジュアルインデックス画面が6枚表示から12枚表示に切り換わり、より多くの画像を一覧表示できます。基本設定－[表示枚数]でビジュアルインデックスに表示させる枚数を固定できます(75ページ)。

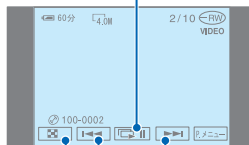
• タブを選んでいるときは、ビジュアルインデックスの画面上で各動画の最初の5秒間を順番に再生するため、動画の内容を確認できます。基本設定－[動画再生]で[切]に設定すると、動画を再生しなくなり、バッテリーを長持ちさせることができます(76ページ)。

3 再生を始める。

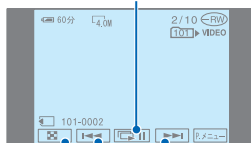
動画のとき

タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に［◀I］/［I▶］をタッチするとスロー再生が始まります。
- 早戻し/早送りボタンは1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速（DVD+RWの場合は約8倍速）で動作します。
- I▶Iが最後に再生した動画についているときにタッチすると、前回途中で止めた位置から再生できます。

静止画のとき

ディスクのときは：

タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

"メモリースティック デュオ"のときは：

をタッチし、見たい画像をタッチする。

動画の音量を調節する

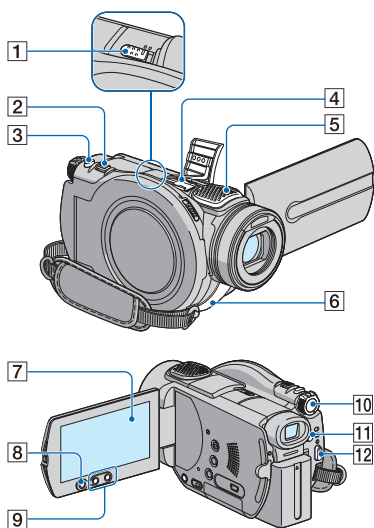
［P.メニュー］→［音量］をタッチし、［－］/［＋］をタッチして調節する。

- ［P.メニュー］で見つからないときは［セットアップ］から選びます（60ページ）。

ディスクを取り出して他のDVD機器で見る

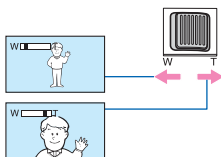
50ページをご覧ください。

撮る/見る

撮る/見るときに使う機能など

撮るとき

ズームする.................................... [2][9]

ズームレバー[2]を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角：Wide
（ワイド）

望遠：Telephoto
（テレフォト）

- ズームレバー[2]から急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面下のズームボタン[9]では、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 倍率が10倍を越えたときに、［デジタルズーム］（67ページ）できます。

臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録）............... [4][5]

DOLBY DIGITAL 5.1 CREATOR

本機は、ドルビーデジタル5.1クリエーターの搭載により、5.1chサラウンド音声を記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

- 5.1ch記録/再生時には、画面に♪5.1chが表示されます。本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。

ドルビー5.1クリエーター、5.1chサラウンド音声 用語集（140ページ）へ

内蔵の４chマイク[5]で取り込んだ音を5.1chサラウンド音声に変換して記録します。

ワイヤレスマイクロホンで記録する

別売りのワイヤレスマイクロホンを使うと、離れた場所の音をワイヤレスで記録できます。取り込んだ音は、5.1chサラウンド音声のフロントセンター部分に割り当てられ、内蔵マイクで取り込んだ音とミックスして記録されます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、より臨場感あふれる音で映像を再現することができます。

ワイヤレスマイクロホンはアクティブインターフェースシュー[4]に取り付けて使う（94ページ）。

詳しくは、マイクロホンの取扱説明書をご覧ください。

フラッシュを使う.............................. 11

⚡(フラッシュ)11ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。

表示なし(自動調節):撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

↓

⚡**(強制発光)**:周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

↓

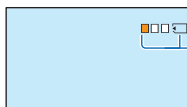
(発光禁止):常に発光しない。

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m〜2.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- フラッシュランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)やフィルター(別売り)取り付け時は、フラッシュは発光しません。
- [フラッシュ設定]の[フラッシュレベル]で発光量を手動で変えたり、[赤目軽減]で目が赤く写るのを抑制したりできます(66ページ)。

動画撮影中に高画素の静止画を記録する(デュアル記録)..................... 3 8 12

動画撮影中に、"メモリースティック デュオ"またはディスクに高画質の静止画を記録することができます。

① スタート/ストップボタン12または8を押し、撮影を開始する。

② フォトボタン3を深く押す。
動画撮影を開始してから終了するまでに、最大3枚までの静止画を記憶することができる。

静止画記憶枚数と記録先メディア。
記憶されると、□がオレンジ色に変わる。

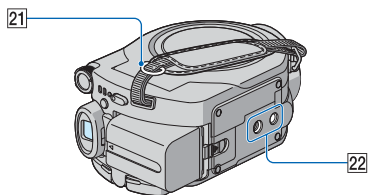
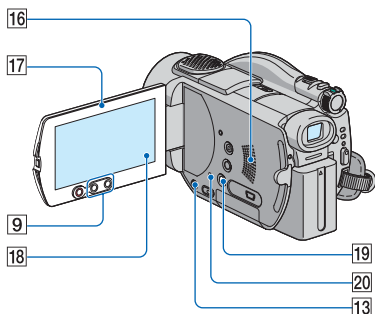
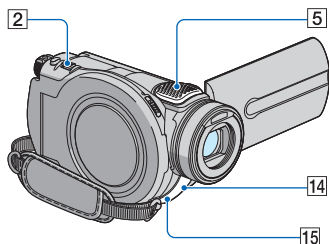
③ スタート/ストップボタン12または8を押して動画撮影を終了する。記憶していた静止画が表示され、選択している静止画記録先メディア("メモリースティック デュオ"またはディスク)に記録される。
▮▮▮▮▮が消えると記録が完了する。

- "メモリースティック デュオ"にデュアル記録をしたときは、動画撮影を終了して"メモリースティック デュオ"への記録が完了するまで、本機から"メモリースティック デュオ"を抜かないでください。
- フラッシュ撮影はできません。
- 電源スイッチが🎞(動画)のとき、静止画の画像サイズは2.3M(16:9)または3.0M(4:3)になります。
- [静止画記録先]の設定について詳しくは、37ページをご覧ください。
- 撮影スタンバイ中は電源スイッチが📷(静止画)のときと同様に静止画を記録できます。フラッシュ撮影も可能です。

暗い場所で撮る(NightShot)........ 1

NIGHTSHOTスイッチ1を「入」にする。
(と["NIGHTSHOT"]が表示される。)

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot(66ページ)、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter(67ページ)が使えます。
- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部 6を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ([フォーカス]、66ページ)してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

次のページへつづく➡

逆光を補正する 13

逆光補正ボタン13を押すと▣が表示されて補正される。解除するにはもう1度押す。

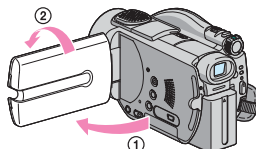
画面中央にない被写体にピントを合わせる 18

[スポットフォーカス]をご覧ください(65ページ)。

被写体を基準に明るさ調節する 18

[スポット測光]をご覧ください(64ページ)。

自分撮り(対面撮影)する 17

液晶画面17を90°まで開いてから(①)、レンズ側に180°回す(②)。

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

画像に演出を加えて撮る 18

ピクチャーアプリをご覧ください(70ページ)。

ショルダーベルトを使う 21

ショルダーベルト(別売り)をショルダーベルト取り付け部21に取り付ける。

三脚を使って撮る 22

三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴22に取り付ける。

見るとき

再生ズームする 2 9

画像を1.1～5倍の範囲でズームできる。倍率はズームレバー2または液晶画面下のズームボタン9で調整する。

① 拡大したい画像を表示する。
② T(望遠)で画像を拡大する。
画面に枠が表示される。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチ。
タッチした部分が画面中央に移動する。
④ W(広角)/ T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

- 液晶画面下のズームボタン9ではズームする速さを変えることはできません。

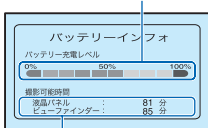
静止画を連続再生する（スライドショー）............................ 18

静止画再生画面で をタッチ。
選んだ画像からスライドショーが始まる。
中止するには をタッチ。再開するときにはもう1度 をタッチ。

- をタッチして、スライドショーの繰り返し再生を設定できます。お買い上げ時は[入]（繰り返し再生）に設定されています。
- スライドショー再生中は再生ズームは使えません。

撮る/見る共通

バッテリーの残量を確認する............ 19

電源スイッチを「切（充電）」にしたあと、画面表示/バッテリーインフォボタン19を押すと、バッテリーの情報が約7秒間表示される。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できる。

操作音を消す...................................... 18

76ページをご覧ください。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）.. 20

RESET（リセット）ボタン20を押すと、日時を含めすべての設定が解除される（パーソナルメニューに設定した内容は解除されません）。

その他の部分の名前とはたらき

5 内蔵4chマイク

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

14 リモコン受光部

リモコン（47ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

15 録画ランプ

録画時に赤く点灯します（76ページ）。

ディスクやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

16 スピーカー

再生時の音声が聞けます。

- 音量調節については、39ページをご覧ください。

撮影した画像を確認/削除する（レビュー/レビュー削除）

動画/静止画の、それぞれ直前に撮影した画像を確認/削除できます。

次の場合は削除できません。

－ディスクを取り出したとき

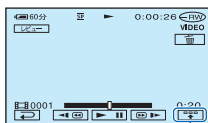
－新たに動画または静止画を撮影したとき

－シンプル操作中

撮影した画像を確認する（レビュー）

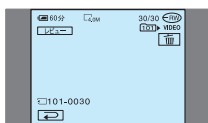
1 電源スイッチを（動画）または（静止画）にして、をタッチ。

直前に撮影した画像が再生される。

動画

タッチすると、次の操作ボタンが表示される。

：再生している動画の先頭に戻る

/：音量を調節する

静止画

撮影画面に戻るには

をタッチ。

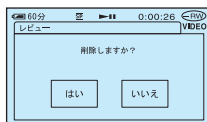
- 撮影時の日付時刻や、撮影条件を示したカメラデータは表示できません。

撮影した画像を削除する（レビュー削除）

レビューで確認した画像が不要なときは、その場で削除できます。

“メモリースティック　デュオ”に記録した静止画も、撮影後に電源を切るまでは同じ手順で削除できます。

DVD-Rでは削除できません。

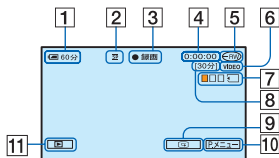
1 レビュー再生中にをタッチ。

2 ［はい］をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- 最後に撮影した画像のみ削除できます。次の場合は、が灰色に表示され、削除できません。
  - 最後に撮影された画像がすでに削除されている
  - 再生中の画像より後に撮影された動画または静止画がある

撮る/見るときの画面表示

( )内は参照ページ。
撮影中の画面表示は録画されません。

動画を撮影中

1 バッテリー残量の目安(43)

2 録画モード(HQ / SP / LP)(73)

3 撮影状態([スタンバイ]/[●録画])

4 カウンター(時:分:秒)

5 ディスクの種類(12)

6 記録フォーマット(DVD-RWのみ)(12)

7 デュアル記録(41)

8 撮影可能時間の目安(76)

9 レビューボタン(44)

10 パーソナルメニューボタン(60)

静止画を撮影中

11 見る/編集ボタン

12 画像サイズ(68)

13 画質([FINE]/[STD])(68)

14 撮影可能枚数と記録メディア

15 記録フォルダ(“メモリースティック デュオ”のみ)*

*“メモリースティック　デュオ”に記録した静止画の枚数が多くなると、自動的に新しいフォルダを作成し画像を保存します。

- デュアル記録時には、動画と静止画の撮影画面表示が同時に現れます。表示される位置は、通常操作の画面表示とは若干異なります。

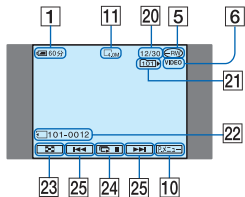
動画を再生中

16 ディスク再生表示

17 前の画像/次の画像ボタン(32、39)

18 シーン番号

19 動画操作ボタン(32、39)

静止画を再生中

20 現在の枚数/撮影済み枚数

21 再生フォルダ(“メモリースティック デュオ”のみ)

22 データファイル名

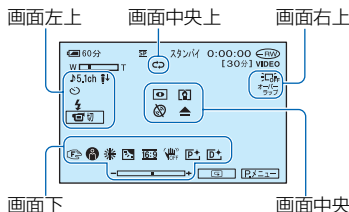
23 ビジュアルインデックス表示ボタン(33、39)

24 スライドショーボタン(43)

25 前の画像/次の画像ボタン(33、39)

次のページへつづく➡

液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch	5.1chサラウンド記録/再生(40)
	セルフタイマー撮影(67)
	フラッシュ(66)
	マイク基準レベル低(74)
切	液晶画面切(70)

画面中央上

表示	意味
	スライドショー繰り返し設定(43)

画面右上

表示	意味
ホワイトフェーダー ブラックフェーダー オーバーラップ ワイプ	フェーダー (70)
OFF	液晶バックライト切(21)

画面中央

表示	意味
	NightShot(41)
S	Super NightShot(66)
	Color Slow Shutter (67)
	PictBridge接続中 (92)
	警告(119)

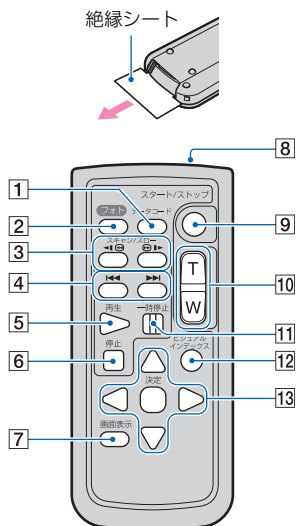
画面下

表示	意味
	ピクチャーエフェクト (71)
	デジタルエフェクト(70)
	手動フォーカス(66)
	プログラムAE(64)
	逆光補正(42)
	ホワイトバランス(65)
16:9	ワイド(16:9)切換(27)
OFF	手ぶれ補正(67)
	フレキシブルスポット測光(64)/カメラ明るさ(64)

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日時/カメラデータとして確認できます(75ページ)。
撮影時の日付時刻はDVDプレーヤーなどで表示させることができます(54、[プレーヤー用日付記録] 77ページ)。

リモコンで使う

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 データコードボタン(75ページ)

再生中に押すと、日時/カメラデータ(75ページ)を表示する。

2 フォトボタン(30、36ページ)

押したときの画像が静止画として記録される。

3 スキャン/スローボタン(32、39ページ)

4 ⏮ ⏭(前の画像/次の画像)ボタン(32、39ページ)

5 再生ボタン(32、39ページ)

6 停止ボタン(32、39ページ)

7 画面表示ボタン(22ページ)

8 リモコン発光部

9 スタート/ストップボタン(30、36ページ)

10 ズームボタン(40、42ページ)

11 一時停止ボタン(32、39ページ)

12 ビジュアルインデックスボタン(32、39ページ)

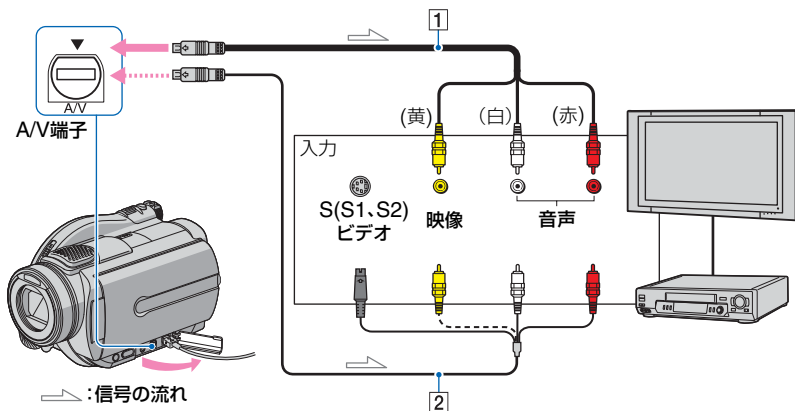
再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示する。

13 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / 決定ボタン

いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示される。◀ / ▶ / ▲ / ▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、決定ボタンを押す。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください(43ページ)。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び ◀ / ▶ / ▲ / ▼ または決定ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- 電池交換については、132ページをご覧ください。

テレビにつないで見る

AV接続ケーブル(1)、またはS映像端子付きAV接続ケーブル(2)で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(17ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 AV接続ケーブル(付属)

他機の入力端子につなぎます。

2 S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル(別売り)

S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

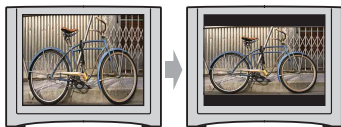
テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて再生時の画像の比率を設定する。

① 本機の電源を入れ、▶ 見る/編集ボタンを押す。

② P.メニュー →[セットアップ]→ 基本設定 →[TVタイプ]→[16:9]または[4:3]→ OK をタッチ。

- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS(S1、S2)映像入力端子につないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- [TVタイプ]を[4:3]に設定したときは、画質が下がることがあります。また、ワイド(16:9)と4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。

• ワイド(16:9)画像をワイド信号非対応の4:3テレビでご覧になるときは、[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

• [画面表示出力]を[ビデオ出力/パネル]に設定すると、テレビ画面でカウンターなどの情報を見ることができます(76ページ)。

DVDプレーヤーやDVDドライブで見られるようにする(ファイナライズ)

ファイナライズとは、画像を記録したディスクを、DVDプレーヤーやパソコンのDVDドライブなどで再生できるように行う互換処理です。

●すべての機器での再生を保証するものではありません。

ファイナライズ時には、次の設定をすることができます。

– 画像を一覧表示できるDVDメニューのスタイルを選ぶ(53ページ)*
– 静止画を再生するためのフォトムービーを作る(53ページ)*
– ディスクにお好みのタイトルをつける(53ページ)

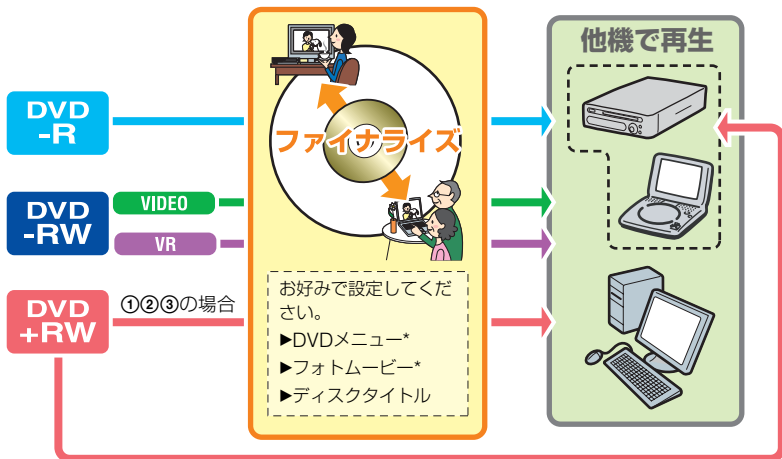
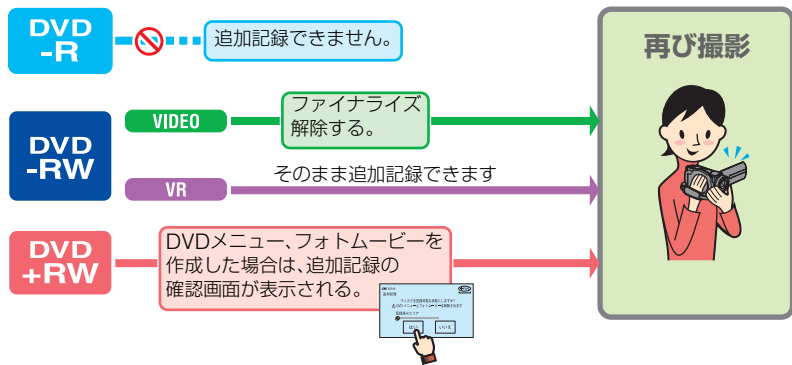
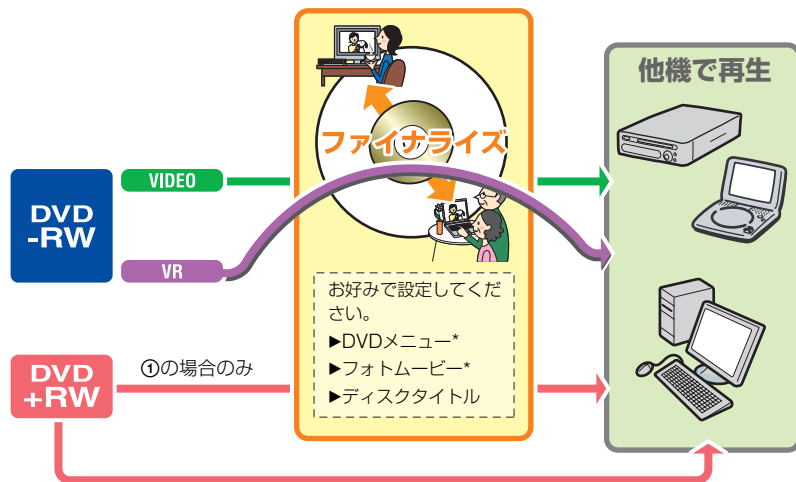
お使いのディスクによってファイナライズに関する特徴が異なります。

ファイナライズが必要なディスク… DVD -RW

ファイナライズが不要なディスク… DVD +RW

DVD +RW をお使いの場合は、次のときにファイナライズが必要になります。
① DVDメニューやフォトムービーを作成したいとき
② パソコンのDVDドライブで再生したいとき
③ 記録時間が短いとき
(HQモードで５分以下、SPモードで8分以下、LPモードで15分以下)

操作の流れ

初めてDVD機器で再生するときは(52ページ)

* DVD -RW VR では行えません(53ページ)。

ファイナライズする

- **ファイナライズにかかる時間は約1分〜最大数時間です。ディスクの記録容量が少ないほど（録画時間が短いほど）、かかる時間は長くなります。**
- **途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。**
- 両面ディスクの場合は、ファイナライズは各面で行ってください。

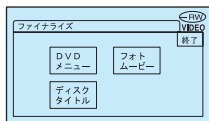
1 本機を安定したところに置き、ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 電源スイッチをずらして、電源を入れる。

3 ファイナライズしたいディスクを入れる。

4 [P.メニュー]→[ファイナライズ]をタッチ。

[設定]をタッチすると次の操作を行うことができる。

– DVDメニューのスタイルを選ぶ（53ページ）
– フォトムービーの設定を変える（53ページ）
– ディスクタイトルを変更する（53ページ）

行わないときは手順**5**へ進む。その場合は以下（お買い上げ時）の設定でファイナライズされる。

– DVDメニュー：スタイル1
– フォトムービー：作成する
– ディスクタイトル：ディスクの使用開始日時

DVDメニュー、フォトムービー、ディスクタイトル用語集（139、140ページ）へ

5 [OK]→[はい]→[はい]をタッチ。

ファイナライズが始まる。

- ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
  やむを得ずACアダプターを抜くときは、本機の電源を切り、電源ランプが消えてから抜いてください。
  再びACアダプターを接続して電源を入れるとファイナライズが再開されます。この場合、ファイナライズが完了するまでディスクを取り出せません。

6 [完了しました]と表示されたら[OK]をタッチ。

- DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWでは、撮影画面にしているときはファイナライズ完了後⏏が点滅します。ディスクを取り出してください。
- DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで、DVDメニューを作成する設定にした場合は、ファイナライズ中にDVDメニュー画面が一時的に表示されます。
- DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）では本機でフォトムービーを再生できません。
- ファイナライズ後はディスク表示/記録フォーマット表示が次のように変わります。

DVD-R	-R
DVD-RW（VIDEOモード）	-RW VIDEO
DVD-RW（VRモード）	-RW VR
DVD+RW	+RW

DVDメニューのスタイルを選ぶには

① [DVDメニュー]をタッチ。

② [▲]/[▼]で4種類の中から好みのパターンを選ぶ。

DVDメニューを作成しないときは、[メニューなし]を選ぶ。

③ [OK]→[終了]をタッチ。

フォトムービーの設定を変えるには

① [フォトムービー]をタッチ。

② [作成する]をタッチ。
フォトムービーを作成しないときは、[作成しない]を選ぶ。

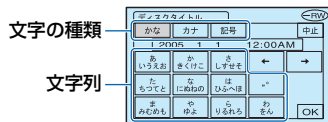
③ [OK]→[終了]をタッチ。

- フォトムービーを作成すると、ファイナライズにかかる時間が長くなります。ディスクに記録した静止画が多いほど、時間がかかります。
- 静止画(JPEG方式)は、フォトムービーを作成しなくても、パソコンで表示できます(55ページ)。
- DVD-RW(VRモード)は、ここではフォトムービーを作成できません。「すべての静止画を1つの動画に変換する(フォトムービー)」で作成してください(87ページ)。

ディスクタイトルを変更するには

① [ディスクタイトル]をタッチ。

② [←]をタッチし、不要なタイトル文字を消す。
黄色のカーソルが動いて、後ろの文字から消去されます。

③ 文字の種類を選び、入力したい文字が表示されるまで文字列を繰り返しタッチ。

文字を消すとき:[←]をタッチ。
空白を入れるとき:[→]をタッチ。
小さいひらがなを入れるとき:
該当する文字列を繰り返しタッチ。

(例)「っ」を入れるときは、「た」の文字列を繰り返しタッチ。

④ 1文字入力するごとに[→]をタッチして、次の文字を入力する。

⑤ 入力が完了したら[OK]をタッチ。

⑥ [終了]をタッチ。

- タイトルは最大20文字入力できます。
- 漢字変換機能はありません。[記号]にある漢字以外はタイトルに入力できません。
- パソコンなど他の機器でタイトルを作成した場合、本機でタイトルを編集すると21文字目以降は消去されます。

DVDプレーヤーなどで見る

ファイナライズ（50ページ）を行うと、本機で撮影したディスクをDVDプレーヤーなどで見ることができます。DVD+RWはファイナライズしないでも見ることができます。

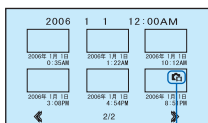
- **8cm CD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。**
- **縦置きのDVD機器は、ディスクが水平になるように設置して再生してください。**

1 ディスクをDVD機器に入れる。

2 ディスクを再生する。

DVD機器によって再生操作は異なります。お使いの機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

DVDメニューを作成したときは

メニュー画面で、見たい画像を選べます。フォトムービーは、動画の後に表示されます。

フォトムービー画像に表示される

- DVD機器によって、再生できなかったり、場面のつなぎ目で画像が一時停止したり、一部の機能が使えなかったりする場合があります。
- フォトムービーは約3秒ごとに画像が切り換わります。
- 字幕表示に対応しているDVD機器では、その機能を利用して、撮影した日時を字幕の位置に表示させることができます（77ページ）。DVD機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

再生の互換性について

すべての機器での再生を保証するものではありません。再生機器との互換性は、お使いの機器の取扱説明書でご確認いただくか、お買い上げ店へお問合せください。

ソニー製品との互換性は、下記のホームページでご確認ください。

http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

パソコンのDVDドライブで見る

- 8cm CD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。
- DVD+RWをお使いの場合でも、必ずファイナライズ（50ページ）を行ってください。ファイナライズせずにディスクを再生すると、故障の原因になります。

パソコンのDVDドライブで動画を再生する

パソコンのDVDドライブが8cm DVD対応で、パソコン本体にDVD再生ソフトウェアがインストールされている必要があります。

1 ファイナライズ済みのディスクをDVDドライブに入れる。

2 DVD再生ソフトウェアを使って再生する。

- パソコンによっては、ディスクを再生できないことがあります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクに記録されている動画ファイルを、パソコンへ直接コピーして再生や編集をすることはできません。画像の取り込み方法については、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコンのDVDドライブで静止画を再生する

ディスク内の静止画（JPEG形式）をそのまま表示します。ディスクに記録したデータを直接操作するため、誤って消去したり、変更したりしないようにしてください。

1 ファイナライズ済みのディスクをDVDドライブに入れる。

2 [スタート]→[マイコンピュータ]の順にクリックする。

または、デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする。

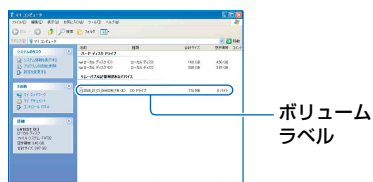
3 ディスクを入れたDVDドライブを右クリックし、[開く]をクリックする。

4 [DCIM]→[100MSDCF]の順にダブルクリックする。

5 見たい静止画をダブルクリックする。

選んだ静止画が表示される。

ディスクのボリュームラベルには、ディスク使用開始日時が記入されます。

<例>
2006年1月1日午後6時に使用を開始した場合のボリュームラベル:
2006_01_01_06H00M_PM

ディスク内の画像は、下記のフォルダに保存されています。

■ 動画の保存先

DVD-R/DVD-RW(VIDEOモード)/DVD+RWの場合:

VIDEO_TSフォルダ

DVD-RW(VRモード)の場合:

DVD_RTAVフォルダ

■ 静止画の保存先

DCIM￥100MSDCFフォルダ

<例>
DVD-R/DVD-RW(VIDEOモード)/DVD+RWの保存先
(WindowsXPの場合):

ファイナライズ後に本機で追加記録する

DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWは、ディスクの記録容量がまだ残っている状態でファイナライズした場合、次の操作を行えば、引き続き追加記録ができます。
DVD-RW（VRモード）は、そのまま追加記録できます。

- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 操作中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
- ファイナライズで作成したDVDメニューとフォトムービーは削除されます。
- 両面ディスクの場合は、各面で操作を行ってください。

DVD-RW（VIDEOモード）のとき（ファイナライズ解除）

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 **電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。**

3 **ファイナライズ済みのディスクを入れる。**

4 **P.メニュー→［セットアップ］をタッチ。**

5 **ディスク/メモリー設定→［ファイナライズ解除］をタッチ。**

6 **［はい］→［はい］をタッチ、［完了しました］と表示されたら OK をタッチ。**

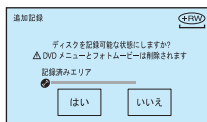
DVD+RWのとき

ファイナライズでDVDメニュー（53ページ）やフォトムービー（53ページ）を作成した場合は、追加記録をする前に次の操作が必要です。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 **電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。**

3 **ファイナライズ済みのディスクを入れる。**

追加記録の確認画面が表示される。

4 **［はい］→［はい］をタッチ。**

［完了しました］と表示され、撮影画面に戻る。

ディスクの画像をすべて削除する（初期化）

記録した画像をすべて削除してディスクの記録容量を元に戻し、再び書き込み可能にすることを「初期化」といいます。

- **DVD-Rは初期化できません。新しいディスクと取り換えてください。**

すでにファイナライズしているディスクを初期化した場合

	ファイナライズは解除されます。DVDプレーヤーなどで見るときは、再びファイナライズが必要です。
	ファイナライズされた状態のまま、すべての画像が削除されます。本機の画面には-RW VR、+RWが表示され、DVDプレーヤーなどで見るときは再びファイナライズする必要はありません。*

* DVD+RWで、DVDメニューやフォトムービーを作成したいときは、再びファイナライズが必要です（50ページ）。

- 途中で電源が切れないように、必ずACアダプターを使ってください。
- 初期化中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜かないようにしてください。
- 両面ディスクの場合は、各面で初期化を行ってください。DVD-RWは、各面を別のモードで初期化することができます。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

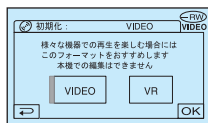
2 電源スイッチをずらして、本機の電源を入れる。

3 初期化したいディスクを入れる。

4 P.メニュー→[初期化]をタッチ。

■DVD-RWのとき：
記録フォーマットを選び、初期化します。手順**5**に進む。

■DVD+RWのとき：
動画の比率を選び、初期化します。手順**6**に進む。

5 DVD-RWの記録フォーマットを選び OK をタッチし、手順7に進む。

- 記録フォーマットについて詳しくは、12ページをご覧ください。

6 DVD+RWの動画の比率を[16:9ワイド]または[4:3]から選び、OK をタッチ。

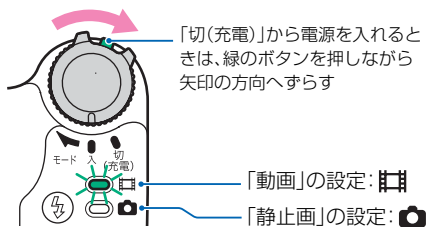
- 動画の比率について詳しくは、25ページをご覧ください。

7 [はい]→[はい]をタッチ、[完了しました]と表示されたら OK をタッチ。

- DVD＋RWは手順**6**で設定した動画の比率を変更できません。変更するためには再び初期化してください。
- シンプル操作（29ページ）に設定中は、DVD-RWを入れても手順**5**は表示されません。手順**7**に進んでください。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけたディスクは初期化できません。プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除してから初期化してください。

セットアップ項目の使いかた

このページ以降のセットアップ項目は、下記の方法で操作してください。

1 電源スイッチを矢印の方向にずらし、ランプを点灯させる。

再生の設定をするときは、▶ 見る/編集ボタンを押して再生画面にする。

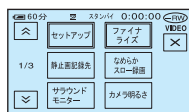
2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色に表示されるセットアップ項目は、使用できません。

■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

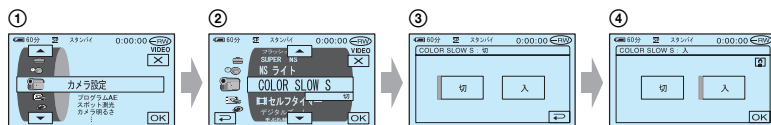
パーソナルメニューには、よく使うセットアップ項目へのショートカットが登録されています。

- パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（78ページ）。

① P.メニュー をタッチする。

② 希望のセットアップ項目をタッチする。
画面にないときは、⌃/⌄ をタッチして表示させる。

③ 希望の設定にし、OK をタッチする。

■ セットアップ項目を変更するときは

パーソナルメニューに登録されていないセットアップ項目も設定できます。

① P.メニュー →［セットアップ］をタッチする。

② 設定するセットアップ項目を選ぶ。
▲/▼ をタッチして選び、OK をタッチして決定する（手順③も同様の操作です）。

③ 設定する項目を選ぶ。
- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OK → ✕（閉じる）の順にタッチして、セットアップ項目画面を消す。
設定を変更しないで戻るときは、↩ をタッチする。

■ シンプル操作中にセットアップ項目を変更するときは

シンプル操作中は P.メニュー は表示されません（29ページ）。

① ［セットアップ］をタッチ。
設定可能なセットアップ項目が表示される。

② 設定する項目を選択する。

③ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OK をタッチ。
設定を変更しないで戻るときは、↩ をタッチ。
- 通常操作のセットアップ項目の設定を変更するには、シンプル操作を解除してください（29ページ）。

セットアップ項目一覧

本機の状態によって、操作可能なセットアップ項目（●）が異なります。
シンプル操作時は、下記の設定に自動設定されます（29ページ）。

カメラ設定（64ページ）

	（動画）	（静止画）	見る/編集	シンプル操作時
プログラムAE	●	●	—	オート
スポット測光	●	●	—	オート
カメラ明るさ	●	●	—	オート
ホワイトバランス	●	●	—	オート
オートシャッター	●	—	—	入
スポットフォーカス	●	●	—	オート
フォーカス	●	●	—	オート
フラッシュ設定	●	●	—	⚡*/切
SUPER NS	●	—	—	切
NSライト	●	●	—	入
COLOR SLOW S	●	●	—	切
セルフタイマー	●	—	—	切
セルフタイマー	—	●	—	切
デジタルズーム	●	●	—	切
手ぶれ補正	●	—	—	入

静止画設定（68ページ）

	（動画）	（静止画）	見る/編集	シンプル操作時
画質	—	●	—	ファイン
画像サイズ	—	●	—	●
ファイルナンバー	—	●	—	—*

ピクチャーアプリ（70ページ）

	（動画）	（静止画）	見る/編集	シンプル操作時
フェーダー	●	—	—	切
デジタルエフェクト	●	—	—	切
ピクチャーエフェクト	●	—	—	切
なめらかスロー録画	●	—	—	—
録画操作	—	—	●	—
USB機能選択	—	—	●	—**
デモモード	●	—	—	入

ディスク/メモリー設定（72ページ）

	（動画）	（静止画）	見る/編集	シンプル操作時
初期化	●	●	●	●
ファイナライズ	●	●	●	●
ファイナライズ解除	●	●	●	—
ディスクタイトル	●	●	●	—
初期化	—	●	●	●

	（動画）	（静止画）	見る/編集	シンプル操作時

基本設定（73ページ）

録画モード	●	—	—	SP
静止画記録先	●	●	—	●*
音量	—	—	●	●*
バイリンガル	—	—	●	切
マイク基準レベル	●	—	—	標準
サラウンドモニター	●	—	—	—
パネル･VF設定	●	●	●	—/ノーマル/—/ノーマル/—*
TVタイプ	●	●	●	—*
USBスピード	—	—	●	オート
日時/カメラデータ表示	—	—	●	日付時刻データ
表示枚数	—	—	●	—*
動画再生	—	—	●	—*
残量表示	●	—	—	オート
リモコン	●	●	●	入
録画ランプ	●	●	—	入
操作音	●	●	●	●*
画面表示出力	●	●	●	パネル
セットアップ操作方向	●	●	●	—*
自動電源オフ	●	●	●	5分後
プレーヤー用日付記録	●	—	—	—*
キャリブレーション	—	—	●	—

時間設定（77ページ）

日時あわせ	●	●	●	●*
エリア設定	●	●	●	—*
サマータイム	●	●	●	—*

*シンプル操作前の設定値が保持されます。

**再生画面で本機とパソコンなどをUSBケーブルで接続すると、自動的に表示されます。

カメラ設定

撮影状況に合わせるための設定（明るさ/ホワイトバランス/手ぶれ補正など）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は60ページをご覧ください。

プログラムAE

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
プログラムAEを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

スポットライト*（）
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ソフトポートレート（）
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

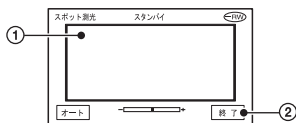
ビーチ&スキー*（）
照り返しの強い砂浜やゲレンデで、人物が陰になるのを防ぐ。

サンセット&ムーン（）**
夕焼けや夜景、花火などを雰囲気たっぷりに表現する。

風景（）**
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

* 近くのものにピントが合わないように設定されます。
** 遠景のみにピントが合うように設定されます。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[オート]に戻ります。

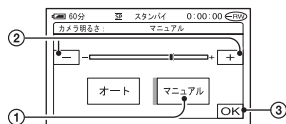
スポット測光（フレキシブルスポット測光）

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチ。
　-━━━━+ が表示される。
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[オート]に戻ります。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。例えば、日中の屋内撮影時に壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

① [マニュアル]をタッチ。
　-━━━━+ が表示される。
② [－]/[＋]で明るさを調節する。
③ [OK]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

- 液晶パネルを180°回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[カメラ明るさ]と[フェーダー]を調節できます（70ページ）。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[オート]に戻ります。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート

自動調節されます。

屋外（☀）

次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼色蛍光灯の下

屋内（☼）

次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（▲）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する

① [ワンプッシュ]をタッチ。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ [▲]をタッチ。
▲が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

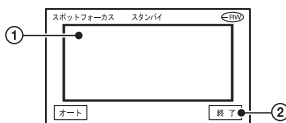
- ▲の速い点滅中は、白い物を映し続けてください。。
- ▲の遅い点滅は、設定できなかった場合を表します。
- OK をタッチ後も▲が点滅するときは、[オート]にしてください。

- [オート]でバッテリーを交換したときや、[カメラ明るさ]設定時に屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、最適な色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[プログラムAE]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]または[ワンプッシュ]にしてください。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[オート]に戻ります。

オートシャッター

[入]（お買い上げ時の設定）のとき、明るい場所では電気的にシャッタースピードを調節して撮影します。

スポットフォーカス

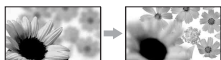
画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。
Ⓕが表示される。

② [終了]をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチ。

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[オート]に戻ります。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① ［マニュアル］をタッチ。
　が表示される。
② （近くにピント合わせ）/ （遠くにピント合わせ）をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。
③ OK をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で［オート］→ OK をタッチ。

- ピントは、始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、［オート］に戻ります。

フラッシュ設定

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）をお使いのとき設定できます。

■ フラッシュレベル

明るい（+）
発光量が増える。

▶ノーマル（）

暗い（−）
発光量が減る。

■ 赤目軽減

撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。
［入］に設定して（フラッシュ）ボタン（41ページ）を繰り返し押し、お好みの設定を選ぶ。

（自動赤目軽減）：自動でフラッシュ撮影するときのみ撮影前に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
（強制赤目軽減）：常に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
（発光禁止）：常に発光しない。

- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

SUPER NS（Super NightShot）

暗い場所でNightShotの最大16倍の感度で撮影できます。
あらかじめNIGHTSHOTスイッチを「入」にした状態で［SUPER NS］を［入］にする。
 と［"SUPER NS"］表示が点滅する。
解除するには、［SUPER NS］を［切］にする。

- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください（41ページ）。
- コンバージョンレンズ（別売り）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（［フォーカス］、66ページ）してください。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

NS ライト(NightShotライト)

NightShot撮影時に赤外線を発光するライトでよりはっきりとした画像を記録できます。
お買い上げ時は[入]に設定されています。

- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(41ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
[COLOR SLOW S]を[入]にする。と[COLOR SLOW SHUTTER]表示が点滅する。
解除するには、[切]をタッチ。

- ピントが合いにくい場合は、手動でピント合わせ([フォーカス]、66ページ)してください。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

セルフタイマー

約10秒後に動画の撮影を開始できます。
[入]( )のときにスタート/ストップボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。

解除するには[切]をタッチ。

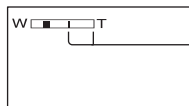
- リモコンのスタート/ストップボタンでも操作できます(47ページ)。

セルフタイマー

約10秒後に静止画の撮影を開始できます。
[入]( )のときにフォトボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。
解除するには[切]をタッチ。

- リモコンのフォトボタンでも操作できます(47ページ)。

デジタルズーム

撮影時に、10倍光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

ラインよりT側がデジタルズーム倍率を選ぶと表示される

▶切
10倍光学ズームのみ

20×
10倍光学ズーム+最大20倍までのデジタルズーム

120×
10倍光学ズーム+最大120倍までのデジタルズーム

手ぶれ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ぶれ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ(別売り)や三脚を利用するときは、[切]( )にすると自然な画像になります。

設定を変更する

静止画設定

静止画に関する設定(画質/画像サイズなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は60ページをご覧ください。

画質

▶ファイン(FINE)
高画質で記録する。

スタンダード(STD)
標準の画質で記録する。

静止画ファイルサイズの目安(約 kB)
電源スイッチが(静止画)のとき

4.0M (4.0M)	1.9M (1.9M)	VGA (0.3M) (VGA)	3.0M (3.0M)
1980 830	960 420	150 60	1500 640

電源スイッチが(動画)のとき

3.0M (3.0M)	2.3M (2.3M)
1540 640	1150 480

- 上段は画質が[ファイン]のとき、下段は画質が[スタンダード]のときの容量です。

画像サイズ

▶4.0M(4.0M)
鮮明な画像を撮影する。

1.9M(1.9M)
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA(0.3M)(VGA)
たくさんの画像を撮影する。

- 電源スイッチが(静止画)で画像の比率が4:3のときに設定できます。その他のときは、以下のとおり固定されます。
  – 電源スイッチが(静止画)でワイド(16:9)のときは3.0M
  – 電源スイッチが(動画)のとき、ワイド(16:9)では2.3M、4:3では3.0M
- 画像サイズごとの画素数は次のとおりです。

4.0M:2304×1728
1.9M:1600×1200
VGA(0.3M):640×480
3.0M:2304×1296
3.0M:2016x1512
2.3M:2016x1134

"メモリースティック　デュオ"の静止画撮影可能枚数の目安(枚)
電源スイッチが(静止画)のとき

	4.0M (4.0M)	1.9M (1.9M)	VGA(0.3M) (VGA)	3.0M (3.0M)
16MB	7 18	16 37	96 240	10 24
32MB	15 37	32 75	190 485	20 48
64MB	31 75	65 150	390 980	41 98
128MB	63 150	130 300	780 1970	83 195
256MB	110 270	235 540	1400 3550	150 355
512MB	230 550	480 1100	2850 7200	305 720
1GB	475 1100	980 2250	5900 14500	620 1450
2GB	970 2300	2000 4650	12000 30000	1250 3000

電源スイッチが（動画）のとき

	3.0M 3.0M	2.3M 2.3M
16MB	10 24	13 32
32MB	20 48	27 65
64MB	40 98	54 130
128MB	82 195	105 260
256MB	145 355	195 470
512MB	300 720	400 960
1GB	610 1450	820 1950
2GB	1250 3000	1650 4000

上段:ファイン画質/下段:スタンダード画質

- ソニー製"メモリースティック　デュオ"使用時。枚数は撮影環境によって変わります。

ディスクの静止画撮影可能枚数の目安（枚）
電源スイッチが（静止画）のとき

	4.0M 4.0M	1.9M 1.9M	VGA(0.3M) VGA	3.0M 3.0M
DVD -R	630 1400	1250 2550	5100 8100	820 1750
DVD -RW VIDEO	670 1500	1300 2700	5400 8600	870 1850
DVD -RW VR	670 1500	1300 2700	5400 8600	870 1850
DVD +RW	590 1150	1050 1850	2950 3800	750 1450

電源スイッチが（動画）のとき

	3.0M 3.0M	2.3M 2.3M
DVD -R	810 1750	1050 2250
DVD -RW VIDEO	850 1850	1100 2400
DVD -RW VR	850 1850	1100 2400
DVD +RW	740 1450	930 1750

上段:ファイン画質/下段:スタンダード画質

- 片面ディスクに静止画のみを撮影した場合の目安です。両面ディスクの場合は各面での撮影枚数の目安になります。

ファイルナンバー

▶連番

ディスクや"メモリースティック　デュオ"を取り換えてもファイル番号を連続して付ける。

リセット

ディスクや"メモリースティック　デュオ"ごとにファイル番号を0001から付ける。

ピクチャーアプリ

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能（デジタルエフェクト/ピクチャーエフェクト/なめらかスロー録画など）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は60ページをご覧ください。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで OK をタッチ。
[オーバーラップ]または[ワイプ]を選ぶと、画面が静止画として記憶される。記憶中は一時的に画面が青くなります。
② スタート/ストップボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには、①で[切]をタッチ。

- もう1度スタート/ストップボタン押すと設定は解除されます。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

オーバーラップ（フェードインのみ）

ワイプ（フェードインのみ）

ファインダーを見ながら操作する

液晶パネルを180゜回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[フェーダー]と[カメラ明るさ]を調節できます。

① （動画）ランプが点灯していることを確認する。
② 液晶パネルを外側に向けて閉じる。
切 が表示される。
③ 切 をタッチ。
[パネルを消しますか？]が表示される。
④ [はい]をタッチ。
画面表示が消える。
⑤ ファインダーを見ながら、画面をタッチ。
[カメラ明るさ]などが表示される。
⑥ 設定するボタンをタッチ。
[カメラ明るさ]： − / ＋ で調節し、OK をタッチ。
[フェーダー]：繰り返しタッチして希望の効果を選ぶ。
入 ：液晶画面を点灯する。

ボタン表示を消すには、OK をタッチ。

デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影できます。D が表示されます。

① 設定する効果を選ぶ。
② [ルミキー]では、 − / ＋ で静止画部分の明るさを調節して OK をタッチ。
OK をタッチしたときの画像が静止画として記憶される。
③ OK をタッチ。
D が表示される。

解除するには手順①で[切]をタッチ。

ルミキー（ルミナンスキー）

記録済みの静止画の明るい部分（人物など）を、動画にはめ込んで撮影する。

オールドムービー
昔の映画のような画像にする。
ワイド(16:9)で記録される。

- [オールドムービー]を設定しているときは、画像の比率を切り換えられません。

ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影できます。P✦が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

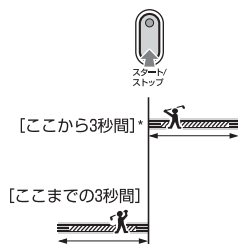
モザイク
タイルを組み合わせたような画像。

なめらかスロー録画

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスなどの速い動きの撮影時に便利です。

[なめらかスロー録画]画面でスタート/ストップボタンを押す。

約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。[ディスクに録画中]が消えると記録が完了します。

[設定]をタッチすると、スタート/ストップボタンを押して記録を開始するタイミングを下記の設定から選択できます。

*お買い上げ時の設定

- 音声は記録されません。

解除するには[終了]をタッチ。

録画操作

90ページをご覧ください。

USB機能選択

USBケーブルで本機とパソコンをつないで、パソコンで画像を見たり、PictBridge対応のプリンターと接続し、印刷する(92ページ)ときに使います。

パソコン接続（ディスク）
付属のソフトを使用してディスクの画像をWindowsパソコンで見る、取り込む。

パソコン接続（メモリースティック）
"メモリースティック デュオ"の画像を取り込む。

プリント（ディスク）
PictBridge対応のプリンターでディスクの静止画をプリントする。

プリント（メモリースティック）
PictBridge対応のプリンターで"メモリースティック デュオ"の静止画をプリントする。

- 次の場合には自動的に[USB機能選択]画面が表示されます。
  - 本機と相手機器をUSBケーブルでつないだ状態で ▶ 見る/編集ボタンを押したとき
  - 再生画面で本機と相手機器をUSBケーブルでつないだとき
- 本機とパソコンとの接続については、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください。

デモモード

お買い上げ時の設定は［入］のため、ディスクと"メモリースティック　デュオ"を入れずに電源スイッチを（動画）にして電源を入れると、約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  - ディスクカバーオープンスイッチをずらす
  - "メモリースティック　デュオ"を入れる
  - 電源スイッチを（静止画）にする
  - NIGHTSHOTスイッチを「入」にする（41ページ）

ディスク/メモリー設定

ディスクと"メモリースティック　デュオ"に関する設定（初期化/ファイナライズ/ファイナライズ解除など）

操作方法は60ページをご覧ください。

初期化

58ページをご覧ください。

ファイナライズ

50ページをご覧ください。

ファイナライズ解除

57ページをご覧ください。

ディスクタイトル

ディスクにタイトル（名前）をつけられます。変更する前は、ディスクの使用開始日時がディスクタイトルとして表示されています。

「DVDプレーヤーやDVDドライブで見られるようにする（ファイナライズ）」の「ディスクタイトルを変更するには」（53ページ）手順**2**～**5**を行って、ディスクタイトルを入力する。

変更を止めるときは手順②で［中止］をタッチ。

初期化

"メモリースティック　デュオ"を初期化すると、記録されているデータは全て削除されます。

① 初期化を実行するには、［はい］→［はい］をタッチ。

② ［完了しました］と表示されたら OK をタッチ。

- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた静止画も削除されます。
- ［実行中］が表示されているとき、次の操作はしないでください。

– 電源スイッチまたはボタン操作
– “メモリースティック　デュオ”の取り出し

基本設定

撮影時の設定や、各種基本設定（録画モード/パネル・VF設定/USBスピードなど）

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内のアイコンが画面に表示されます。
操作方法は60ページをご覧ください。

録画モード

動画を撮影するときの画質を3段階から選べます。

HQ（HQ）
高画質で録画する。
（録画時間の目安：～約20分程度）

▶SP（SP）
標準画質で録画する。
（録画時間の目安：～約30分程度）

LP（LP）
長時間録画する。
（録画時間の目安：～約60分程度）

- **カッコ内は片面ディスクに動画のみを撮影した場合の録画時間の目安です。両面ディスクの場合は、各面での録画時間の目安になります。**
- **本機では、VBR方式（13ページ）を採用しているため、動きの速い画像を撮影すると、録画時間は短くなります。**
  VBR方式 用語集（139ページ）へ
- LPモードで録画したディスクを再生すると、多少画質が荒くなり、動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。

静止画記録先

31、37ページをご覧ください。

音量

39ページをご覧ください。

バイリンガル

他機で二重音声（またはステレオ音声）で記録した動画を、本機で再生するときの音声が選べます。

設定を変更する

▶切
主＋副音声（またはステレオ音声）で再生する。

メイン
主音声（または左音声）で再生する。

サブ
副音声（または右音声）で再生する。

- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[切]に戻ります。

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選ぶ。

▶標準
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低（ ）
周囲の音を忠実に録音する。日常の会話の録音などには適していません。

- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、[標準]に戻ります。

サラウンドモニター

5.1chサラウンド記録時に、どの方向から音が録音できているかを表示できます。

パネル・VF設定

設定を変更しても、録画される画像に影響はありません。

■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチ。

■ パネルバックライトレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

－ ＋
薄くなる　濃くなる

■ VFバックライト

ファインダーのバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ VFワイド表示タイプ

ワイド（16:9）画像のファインダーでの見えかたを設定できます。

▶レターボックス
通常の設定（標準の見えかた）。

スクイーズ
ワイド（16:9）画像で上下に帯があって表示が見にくいとき、画像を上下に引きのばす。

TVタイプ

48ページをご覧ください。

USBスピード

パソコンへのデータ転送速度を選べます。

▶オート

接続するパソコンに応じて、Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)転送とUSB1.1のfull speed相当の速度の転送を自動で切り換える。

フルスピード固定

USB1.1のfull speed相当の速度でデータ転送を行う。

日時/カメラデータ表示

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に確認できます。

▶切

日時やカメラデータを表示しない。

日付時刻データ

記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ

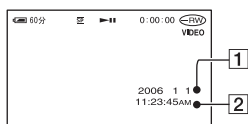
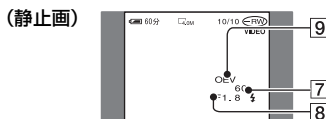
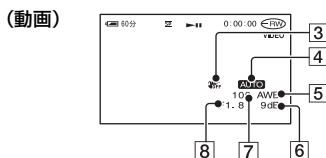
記録した画像のカメラデータを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

(動画)

(静止画)

3 手ぶれ補正
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

- フラッシュを使って撮影した画像では、ϟ が表示されます。
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのデータコードボタンを押すと、日付時刻データ→カメラデータ→切(表示なし)と切り換わります。
- ディスクの状態によっては、[-- -- --] と表示されます。

表示枚数

ビジュアルインデックス画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。
サムネイル 用語集(140ページ)へ

▶ズーム連動

本機のズームレバーを動かすと６枚表示と12枚表示が切り換わる。*

６枚

常に6枚のサムネイルを表示する。

12枚

常に12枚のサムネイルを表示する。

次のページへつづく➡

* 液晶画面下のズームボタン、リモコンのズームボタンでも操作できます。

動画再生

お買い上げ時の設定は［入］のため、ビジュアルインデックス画面で タブを選んでいるときに、画面上で表示されている各動画の冒頭の5秒間を順番に再生します。

- バッテリーを長持ちさせたいときは、［切］に設定してください。
- 動画の再生は5回繰り返すと止まります。

残量表示

▶オート

次のときにディスク残量を約8秒間表示する。

- 電源スイッチを（動画）にした状態でディスク残量を認識したとき
- ディスクを入れ電源スイッチを（動画）にした状態で、画面表示/バッテリーインフォボタンを押して、画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
- 動画の撮影可能時間が5分以下になったとき
- 外部入力録画を始めたとき

入

ディスク残量を常に表示する。

リモコン

お買い上げ時の設定は［入］のため、付属のワイヤレスリモコン（47ページ）が使えます。

- ［切］に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

録画ランプ

［切］に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなります（お買い上げ時の設定は［入］）。

操作音

▶入

撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切

操作音を出さない。

画面表示出力

▶パネル

カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル

画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

セットアップ操作方向

▶ノーマル

［▲］をタッチするとセットアップ項目が下に回転する。

逆方向

［▲］をタッチするとセットアップ項目が上に回転する。

自動電源オフ

▶5分後

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし

自動的に電源は切れない。

- コンセントにつないで使うと自動的に［なし］になります。

プレーヤー用日付記録

[入](お買い上げ時の設定)に設定すると、字幕表示機能に対応したDVD機器などでディスクを再生するときに、撮影時の日付時刻を表示させることができます。DVD機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

キャリブレーション

130ページをご覧ください。

(日時あわせ/エリア設定/サマータイム)

操作方法は60ページをご覧ください。

日時あわせ

23ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。
海外で使用するときは、▲/▼で使用する地域を選び、現地時刻に合わせる。「世界時刻表」(125ページ)をご覧ください。

サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。
[入]に設定すると、時計が1時間進みます。

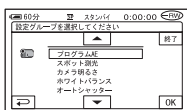
パーソナルメニューを変更する

希望のセットアップ項目を、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

（動画）、（静止画）、見る/編集それぞれの設定で、最大27項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

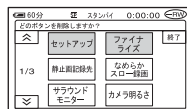
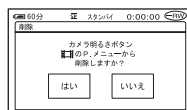
1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[追加]をタッチ。

2 ▲/▼で設定項目を選び、OKをタッチ。

3 ▲/▼で項目を選び、OK→[はい]→✕をタッチ。

項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

項目を削除する

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[削除]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 削除する項目をタッチ。

3 [はい]→✕をタッチ。

- [セットアップ]、[ファイナライズ]と[P.メニュー設定]は削除できません。

表示位置を並べ替える

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 移動する項目をタッチ。

3 ▲/▼で項目を移動する。

4 OK をタッチ。

続けて並べ替えるときは手順**2**〜**4**を行う。

5 [終了]→ ✕ をタッチ。

- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

P.メニュー →[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→ ✕ をタッチ。

静止画をコピーする

撮影した静止画を“メモリースティック デュオ”からディスク、またはディスクから“メモリースティック　デュオ”にコピーすることができます。

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使うことをおすすめします。
- 静止画のコピー中は、本機に振動を与えたり、電源を抜いたりしないでください。

“メモリースティック デュオ”の静止画をディスクにコピーする

あらかじめ、静止画を記録した“メモリースティック デュオ”とコピー用のディスクを本機に入れておいてください。

1 **本機の電源を入れ、見る/編集ボタンを押す。**

2 **をタッチし、[編集]をタッチ。**

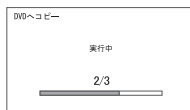
3 **[DVDへコピー]をタッチ。**

4 **コピーしたい画像をタッチ。**

選んだ画像に✔が表示される。
選んだ画像を確認するには、その画像を長押しする。
選択画面に戻るにはをタッチ。

- 1度に100枚までの画像を選べます。

5 **OK→[はい]をタッチ。**

画像のコピーが始まる。

6 **[完了しました]と表示されたらOKをタッチ。**

ビジュアルインデックスの タブが表示される。

“メモリースティック デュオ”内の全ての静止画をコピーするには

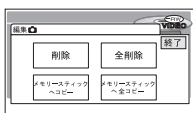
手順**3**で[DVDへ全てコピー]をタッチ。

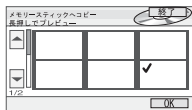
- ファイナライズされたDVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD＋RWにはコピーできません。
- コピーする静止画の枚数が多いと時間がかかる場合があります。
- [空き容量が足りません]と表示された場合は、ディスク内の不要な画像を削除する（83ページ）などしてから、操作をやり直してください。
- 次の静止画はコピーできないことがあります。
  – 他機で撮影した画像
  – パソコンで編集した画像

ディスクの静止画を“メモリースティック デュオ”にコピーする

あらかじめ、静止画を記録したディスクとコピー用の“メモリースティック デュオ”を本機に入れておいてください。

1 **本機の電源を入れ、[▶]見る/編集ボタンを押す。**

2 **[📷]タブをタッチし、[編集]をタッチ。**

3 **[メモリースティックへコピー]をタッチ。**

4 **コピーしたい画像をタッチ。**

選んだ画像に✔が表示される。
選んだ画像を確認するには、その画像を長押しする。
選択画面に戻るには[↩]をタッチ。

- 1度に100枚までの画像を選べます。

5 **[OK]→[はい]をタッチ。**

画像のコピーが始まる。

6 **[完了しました]と表示されたら[OK]をタッチ。**

ビジュアルインデックスの[📷]タブが表示される。

ディスク内の全ての静止画をコピーするには

手順**3**で[メモリースティックへ全てコピー]をタッチ。

- コピーする静止画の枚数が多いと時間がかかる場合があります。
- [空き容量が足りません]と表示された場合は、“メモリースティック　デュオ”内の静止画を削除する（82ページ）などしてから、操作をやり直してください。
- 次の静止画はコピーできないことがあります。
  - 他機で撮影した画像
  - パソコンで編集した画像

“メモリースティック　デュオ”の静止画を削除する

あらかじめ、本機に画像を記録した“メモリースティック　デュオ”を入れておいてください。

1 本機の電源を入れ、見る/編集ボタンを押す。

2 をタッチ。

3 [編集]をタッチ。

4 [削除]をタッチ。

5 削除したい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。
選んだ画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには をタッチ。

- 1度に100枚までの画像を選べます。

6 OK→[はい]をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

“メモリースティック　デュオ”の静止画を全て削除するには

手順**4**で[全削除]をタッチ。

- 次の場合は削除できません。
  - “メモリースティック　デュオ”が誤消去防止状態になっているとき（127ページ）
  - 他機で画像にプロテクト（誤消去防止）をかけているとき
- “メモリースティック　デュオ”内のすべてのデータを削除するには、初期化（72ページ）をします。

オリジナル画像を編集する

DVD-RW（VRモード）では、本機でディスクに記録された動画を削除したり、分割したりできます。
あらかじめ、本機に画像を記録したディスクを入れておいてください。

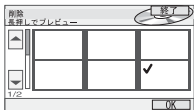
オリジナル 用語集（140ページ）へ

不要な画像を削除する

1 本機の電源を入れ、見る/編集ボタンを押す。

2 削除したい画像に合わせて タブまたは タブを選び、[編集]をタッチ。

3 [削除]をタッチ。

4 削除したい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには をタッチ。

5 OK→[はい]をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

ディスク内のすべての動画または静止画を一括して削除するには

手順**3**で[全削除]をタッチ。

- 削除した動画がプレイリスト（84ページ）に追加されている場合は、プレイリスト上の動画も削除されます。
- 不要な画像を削除してもディスクの空き容量がほとんど増えず、追加記録ができない場合があります。
- ディスクに記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します（58ページ）。

動画を分割する

1 本機の電源を入れ、見る/編集ボタンを押す。

2 タブ→[編集]をタッチ。

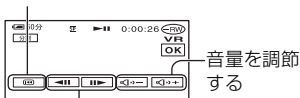
3 [分割]をタッチ。

4 分割したい動画をタッチ。

選んだ動画が再生される。

5 分割したいところで ▶II をタッチ。

再生が一時停止する。

[▲] をタッチすると、[▼] に変わり、次の操作ボタンが表示される。

表示を消すには [▼] をタッチ。

- ▶II を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。
- 本機では0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

6 OK →[はい]をタッチ。

- いったん分割した動画は元に戻せません。

- 分割した動画がプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上の動画は分割されません。

プレイリストを作る

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画/静止画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリスト上で画像を編集しても、オリジナルの画像には影響はありません。
プレイリスト ☞ 用語集(140ページ)へ

あらかじめ、本機に画像を記録したディスクを入れておいてください。

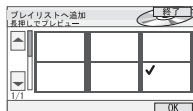
- プレイリスト編集中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。ディスクが壊れる恐れがあります。
- プレイリストには999個までの画像を追加できます。

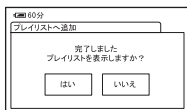
1 本機の電源を入れ、▶ 見る/編集ボタンを押す。

2 追加したい画像に合わせて 動画 タブまたは 静止画 タブを選び、[編集]をタッチ。

3 [プレイリストへ追加]をタッチ。

- 画面にない場合は [⌃]/[⌄] をタッチして表示させる。

4 追加したい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには[↩]をタッチ。

5 [OK]→[はい]をタッチ。

6 プレイリストを見たいときは[はい]、タブまたは タブに戻るとき[いいえ]をタッチする。

ディスク内のすべての動画をプレイリストに追加するには

手順**3**で[プレイリストへ全追加]をタッチ。

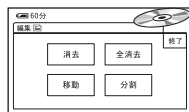
ディスク内のすべての静止画をプレイリストに追加するには

あらかじめフォトムービーを作成してからプレイリストに追加することをおすすめします。87ページをご覧ください。

- 静止画をプレイリストに追加すると自動的に動画変換され、タブにも追加されます。画像の右上には が表示されます。オリジナルの静止画はそのまま残ります。動画に変換された静止画の解像度は、多少下がる場合があります。

追加した画像をプレイリストから外す

1 本機の電源を入れ、[▶]見る/編集ボタンを押す。

2 [] →[編集]をタッチ。

3 [消去]をタッチ。

4 プレイリストから外したい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには[↩]をタッチ。

5 [OK]→[はい]をタッチ。

プレイリストに追加したすべての画像を一括して外すには

手順**3**で[全消去]→[はい]をタッチ。

- プレイリストに追加した画像を外しても、オリジナルの画像には影響ありません。

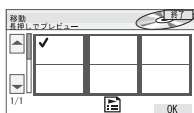
本機で編集する

追加した画像を並べ換える

1 本機の電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。

2 [≡]→[編集]をタッチ。

3 [移動]をタッチ。

4 移動させたい画像をタッチ。

選んだ画像に✔が表示される。
画像を確認するには、その画像を長押しする。選択画面に戻るには[↩]をタッチ。

5 [OK]をタッチ。

6 [←]/[→]で移動先を選ぶ。

移動先表示

7 [OK]→[はい]をタッチ。

- 複数の画像を選んだ場合は、プレイリスト上で並んでいた順番で移動します。

追加した動画を分割する

1 本機の電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。

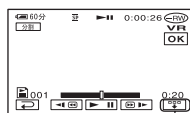
2 [≡]→[編集]をタッチ。

3 [分割]をタッチ。

4 分割したい動画をタッチ。

選んだ動画が再生される。

5 分割したいところで[▶II]をタッチ。

再生が一時停止する。

タッチすると、画面中央に操作ボタンが追加される(84ページ)

- [▶II]を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。
- 本機では0.5秒ごとに分割点を検出するため、[▶II]で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

6 [OK]→[はい]をタッチ。

- プレイリストに追加した動画を分割しても、オリジナルの動画は分割されません。

すべての静止画を1つの動画に変換する(フォトムービー)

フォトムービーを作成すると、複数の静止画を１つの動画として扱うので、より多くの画像をプレイリストに追加できます。

フォトムービー 用語集(140ページ)へ

1 本機の電源を入れ、見る/編集ボタンを押す。

2 タブ→[編集]→[フォトムービー作成]をタッチ。

3 [はい]をタッチ。

ディスク内のすべての静止画が１つの動画ファイルに変換され、タブに追加される。画像の右上には が表示される。

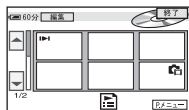
- フォトムービーの作成は、記録した静止画が多いほど時間がかかります。
- デジタルスチルカメラなどで撮影した静止画をパソコンからコピーした場合など、本機と互換性のない静止画はフォトムービーに変換できません。

プレイリストを再生する

あらかじめ、プレイリストに画像を追加したディスクを入れておいてください。

1 本機の電源を入れ、見る/編集ボタンを押す。

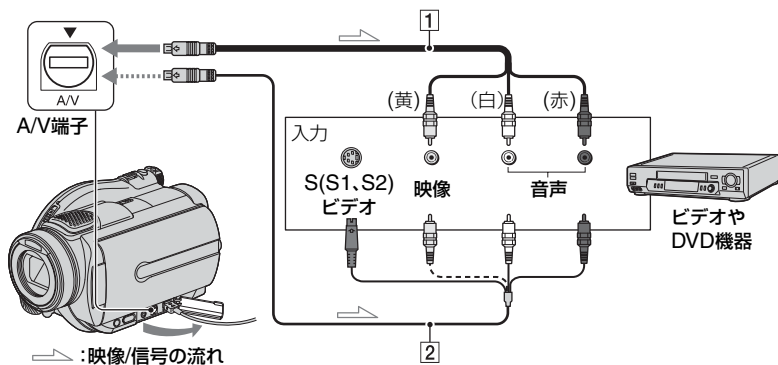
2 をタッチ。

プレイリストに追加された画像が表示される。

3 再生を始めたい画像をタッチ。

選んだ画像からプレイリストの最後まで再生され、ビジュアルインデックス画面に戻る。

本機で編集する

他のビデオ/DVD機器にダビングする

本機の画像をビデオテープや、他のディスクへダビングできます。HDD（ハードディスク）搭載のレコーダーでは、ハードディスクにダビングして、画像を楽しめます。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（17ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **AV接続ケーブル（付属）**
他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）**
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、[画面表示出力]を[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（76ページ）。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください（75ページ）。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

1 本機に撮影済みのディスクを入れる。

2 本機の電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。

再生機器(テレビなど)に合わせて、[TVタイプ]を設定する(48ページ)。

3 ビデオは録画用カセットテープ、DVDレコーダーは録画用ディスクをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

4 本機とビデオ/DVD機器を、AV接続ケーブル(1、付属)またはS映像端子付きAV接続ケーブル(2、別売り)でつなぐ。

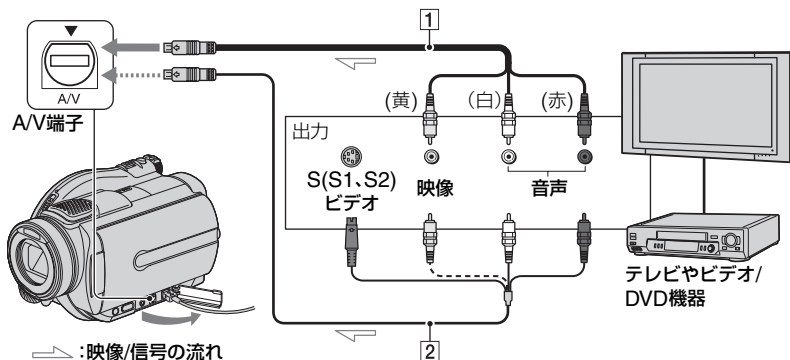
- ビデオ/DVD機器の入力端子につないでください。

5 本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器で録画を始める。

詳しくは、ビデオ/DVD機器の取扱説明書をご覧ください。

6 ダビングが終わったら、ビデオ機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

テレビやビデオ/DVD機器などの画像を本機で録画する

テレビ番組や、ビデオ、DVD機器の画像を本機で録画できます。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（17ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **AV接続ケーブル（付属）**
他機の出力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）**
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- テレビに出力端子がない場合は録画できません。
- 1回だけ録画可能な番組、および著作権保護のための信号が記録されている番組は、本機では録画できません。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声出力へつなぎます。

1 **本機と、テレビやビデオ/DVD機器をAV接続ケーブル(1、付属)またはS映像端子付きAV接続ケーブル(2、別売り)でつなぐ。**

- テレビやビデオ/DVD機器の出力端子につないでください。

2 **ビデオ/DVD機器の場合は、再生するカセットテープやディスクをセットする。**

3 **本機の電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。**

4 **P.メニュー→[録画操作]をタッチ。**

S(S1、S2)映像端子のある機器につないでいるときは、[設定]→[ビデオ入力]→[Sビデオ]→OKをタッチする。

- [設定]をタッチして、録画モードや音量を変更できます。
- [設定]→[残量表示]→[入]をタッチすると、録画中にディスク残量の目安を常に表示します。

5 **本機に録画用のディスクを入れる。**

新しいDVD-RW/DVD+RWを使うときは初期化をする(58ページ)。

6 **ビデオ/DVD機器で再生、またはテレビ番組を受信する。**

再生側の画像が本機の画面に映る。

7 **録画を開始したい場面で[●録画]をタッチ。**

8 **録画を止めたい場面で■をタッチ。**

9 **[終了]をタッチ。**

- [●録画]をタッチしてから、実際に録画が始まるまでに、若干の時間差が生じることがあります。
- 本機のフォトボタンを押しても、入力している画像を静止画として記録することはできません。

記録した静止画を印刷する（PictBridge対応プリンター）

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

PictBridge

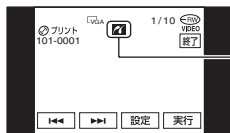
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください。あらかじめ、本機に静止画を記録したディスクや"メモリースティック　デュオ"を入れて、プリンターの電源を入れておいてください。

本機とプリンターを接続する

1 本機の電源を入れて、▶見る/編集ボタンを押す。

2 USBケーブル（付属）で本機の⚲(USB)端子とプリンターをつなぐ。

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示される。

3 ディスクの静止画をプリントする場合は[プリント]、"メモリースティック　デュオ"の静止画をプリントする場合は[プリント]をタッチ。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に（PictBridge接続中）が表示される

静止画が表示される。

- 次の手順でも[USB機能選択]画面を表示できます。P.メニュー→[セットアップ]→ ピクチャーアプリ→[USB機能選択]
- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

印刷する

1 ⏮/⏭ で印刷する画像を選ぶ。

2 設定→[印刷部数]をタッチ。

3 ＋/－ で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

4 OK→[終了]をタッチ。

日時を入れて印刷するには、設定→[日付/時刻]→[年月日]または[日時分]→OKをタッチ。

5 [実行]→[はい]をタッチ。

印刷が完了すると[プリント中です]の表示が消え、画像選択画面に戻る。
続けて他の画像が印刷できます。

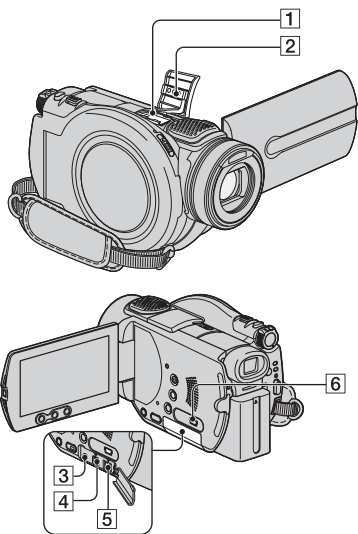
6 印刷が終わったら、[終了]→[終了]をタッチ。

- 他のメディアの画像の印刷をするときは、[機能選択]をタッチし「本機とプリンターを接続する」の手順**3**から操作する。

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  – 電源スイッチを切り換える
  – プリンターからUSBケーブルを抜く

– ディスクカバーオープンスイッチをずらす
– 本機から"メモリースティック　デュオ"を抜く

- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。
- 他機で撮影したファイルサイズが2MB以上の画像、または画素数が2304×1728より大きい静止画は印刷できません。
- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

外部機器をつなぐ端子について

1…シューカバーを開ける

3～5…端子カバーを開ける

1 アクティブインターフェイスシュー

Active Interface Shoe

専用マイクやフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるのアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- フラッシュ（別売り）を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます（40ページ）。

2 シューカバー

3 REMOTE端子

- 別売りのアクセサリーを接続します。

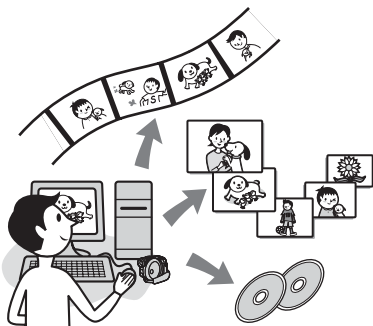
4 A/V端子（48、88、90ページ）

5 DC IN端子（17ページ）

6 ψ（USB）端子（92、95ページ）

パソコンで「ファーストステップガイド」を見る前に

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Package」や「Nero Express 6」をインストールすると、本機とパソコンを接続して、次のような操作を楽しむことができます。

- **Macintoshパソコンは、付属のソフトウェア「Picture Package」、「Nero Express 6」に対応していません。**
- Macintoshパソコンと本機をUSBケーブルでつなぐと、"メモリースティック　デュオ"の静止画を取り込むことができます。詳しくは、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください（100ページ）。

- CD-ROM（付属）には次のソフトウェアが含まれています。
  – USBドライバ
  – Picture Package Ver.1.8.1
  – Nero Express 6
  – 「ファーストステップガイド」

「Picture Package」でできること

■ 画像を見る/保存する
→Picture Package DVD Viewer

画像をサムネイル表示から選んで見ることができます。取り込んだ日付ごとに静止画も動画もフォルダに保存されます。動画の不要な部分を削除したり、メニュー付きの8cm DVDを作成できます。

■ Myビデオ＆Myスライドショーを自動作成
→Picture Package Producer2

動画や静止画を素材として、音楽や効果付きのオリジナルビデオを簡単に作成できます。

■ ディスクを8cm DVDにコピー
→Picture Package Duplicator

本機で記録したディスクを8cm DVDにコピーできます。

「Nero Express 6」でできること

■ ディスクを12cmDVDにコピー

本機で記録したディスクを12cm DVDにコピーできます。

- 複数のディスクを1枚の12cm DVDにコピーすることはできません。
- 「Nero Express 6」については、付属の「Nero Express 6」の取扱説明書をご覧ください。

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコンで見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定からCD-ROM（付属）に含まれているソフトウェア「Picture Package」を初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。「ソフトウェアや「ファーストステップガイド」をインストールする」（97ページ）をご覧になりながらCD-ROMをインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して、手順に従ってください。

ソフトウェア付属のヘルプのご案内

ソフトウェアの全ての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。

次のページへつづく→

ヘルプを見るには、画面上の［？］マークをクリックしてください。

パソコン環境について

■ Windowsパソコンをお使いの場合

Picture Packageを使うときのパソコン環境

OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記OSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。上記OSでもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：Pentium III 600MHz以上
（Pentium III1GHz以上を推奨します。）

必要なソフトウェア： DirectX 9.0c以降
（DirectXテクノロジに対応しておりますので、お使いの際はDirectXが組み込まれている必要があります。）/Windows Media Player 7.0以降/Macromedia Flash Player 6.0以降

サウンドカード：16ビットのステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリー：128MB以上（256MB以上を推奨します。）

ハードディスク：インストールに必要な容量：約250MB（Picture Package Duplicatorなどをお使いの場合は2GB以上。）/推奨する空き容量：6GB以上（編集する画像ファイルサイズにより異なります。）

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、HighColor（16ビットカラー65 000色）、DirectDrawドライバ対応、（800×600ドット未満、256色以下では正常に動作しません。）

その他必要な装置：ψ（USB）端子標準装備

“メモリースティック　デュオ”の静止画をパソコンで見るときのパソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：MMX Pentium 200MHz以上

その他必要な装置：ψ（USB）端子標準装備

■ Macintoshパソコンをお使いの場合

- “メモリースティック　デュオ”の静止画の取り込みのみを行うことができます。

対応OS：Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.1/v10.2/v10.3/v10.4）

その他必要な装置：ψ（USB）端子標準装備

- 本機はHi-Speed USB（USB 2.0準拠）に対応しています。Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応のUSBインターフェイスに接続すると、高速な画像転送（Hi-Speed転送）が行えます。Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）に未対応のUSBインターフェイスに接続した場合、USB1.1相当の転送速度（full-speed転送）になります。
- すべてのパソコン環境についての動作を保障するものではありません。
- パソコンにメモリースティック　スロットがある場合は、画像を保存した“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプター（別売り）に入れてから、パソコンのメモリースティック　スロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- “メモリースティック　PRO　デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリースティック　PRO　デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック　スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。

ソフトウェアや「ファーストステップガイド」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストール不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

Windowsパソコンのとき

1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。

① [マイコンピュータ]をダブルクリックする。

② [PICTUREPACKAGE(E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。

* ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

- パソコンのOSによっては、InstallSheild Wizardで「ファーストステップガイド」が自動的にインストールできないメッセージが表示されます。その場合、メッセージの指示に従って、パソコンに「ファーストステップガイド」を手動でコピーしてください。

5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

6 [次へ]をクリックする。

7 [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

パソコンとつなぐ

次のページへつづく→

8 **インストール先を選択して、[次へ]をクリックする。**

9 **[NTSC: 主に日本、アメリカなどの方式です。]にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。**

10 **[インストール準備の完了]画面の[インストール]をクリックする。**

Picture Packageのインストールが始まる。

11 **[次へ]をクリックし、「ファーストステップガイド」をインストールするために画面の指示に従う。**

パソコンによっては、この画面は表示されません。その場合は手順**12**に進む。

12 **[次へ]をクリックし、ImageMixer EasyStepDVDをインストールするために画面の指示に従う。**

13 **もし[Microsoft(R) DirectX(R)をインストールしています]画面が表示されたら、DirectX 9.0cをインストールするために次の手順を行う。表示されない場合は、手順14に進む。**

① [使用許諾契約]の内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

② [次へ]をクリックする。

③ [完了]をクリックする。

14［はい、今すぐコンピュータを再起動します］がチェックされていることを確認して、［完了］をクリックする。

パソコンの電源がいったん切れたあと、自動的に電源が入る（再起動）。デスクトップ画面に［Picture Package Menu］と［Picture Package Menu 取り込み先フォルダ］（手順**11**でインストールができた場合は、［ファーストステップガイド］）のショートカットが表示される。

15パソコンからCD-ROMを取り出す。

- 本機とパソコンとの接続については、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください。
- Picture Packageについてのお問い合わせは100ページをご覧ください。

Macintoshパソコンのとき

Macintoshパソコンでは、"メモリースティック　デュオ"の静止画を取り込むことができます。
ここでは、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をインストールします。

- 本機とパソコンとの接続や静止画の取り込み方法について詳しくは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

1 本機とパソコンが接続していないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ソフトウェアをインストールする前にすべてのアプリケーションを終了してください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

4 CD-ROMアイコンをダブルクリックする。

5 「FirstStepGuide」フォルダの中の「FirstStepGuide.pdf」をコピーする。

「ファーストステップガイド」を見る

「ファーストステップガイド」を表示する

「ファーストステップガイド」は、Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以上で見ることをおすすめします。
デスクトップの アイコンをダブルクリックする。

- [スタート]→[プログラム](Windows XPをお使いのかたは[すべてのプログラム])→[Picture Package]→「First Step Guide」を選んで、「First Step Guide」を起動させることもできます。
- 「ファーストステップガイド」を自動インストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの「First Step Guide」にある言語フォルダをパソコンにコピーし、[Index.html]をダブルクリックしてください。
- 次のときは「FirstStepGuide.pdf」をご覧ください。
  - 「ファーストステップガイド」を印刷したい
  - ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない
  - HTML形式で自動インストールできない

Macintoshパソコンで起動するには

「FirstStepGuide.pdf」をダブルクリックする。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.co.jp

ソフトウェアについてのお問い合わせ先

ピクセラユーザーサポートセンター

Picture Packageに関する問い合わせを受け付けています。
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日曜日　午前９時～午後５時（ただし、年末、年始、祝日を除く）
http://www.ppackage.com/

著作権について

あなたがCDやネットワークなどから入手した音楽著作物の著作権は、それぞれの音楽著作物の権利者に帰属します。これらの音楽著作物を、法令で認められている私的使用などの範囲を超えて使用（複製、改変、再生、アップロード、特定多数もしくは不特定多数が利用できる家庭外ネットワークへ送信すること又は送信可能な状態におくこと、譲渡、頒布、貸与、ライセンス、販売、出版などを含む）することは、権利者からの許可を得ない限り認められていません。ソニーによるPicture Package の提供は、これら第三者の音楽著作物に関してあなたになんらの権利を許諾するものではありませんので、ご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/シンプル操作について

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（43ページ）を先のとがったもので押す（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は、使える機能が限られます。シンプル操作を解除する（29ページ）。

シンプル操作/通常操作に切り換えられない。

- 撮影中とUSBケーブルを使って他機と通信中は、シンプル操作への切り換えやシンプル操作から通常操作への切り換えはできません。シンプル操作を解除する（29ページ）。

シンプル操作にすると、設定が変わる。

- シンプル操作に設定すると、本機の一部の設定はお買い上げ時の状態に戻る（29ページ）。

デモモードに切り換わらない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」のとき、デモンストレーションできません。NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（41ページ）。
- ディスクと"メモリースティック　デュオ"を取り出す（25、26ページ）。
- 電源スイッチを（動画）にする。

本機が振動する。

- ディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではありません。

振動が手に感じられる、または操作中にかすかな音が聞こえる。

- 故障ではありません。

動作音が本機から定期的に聞こえる。

- 故障ではありません。

ディスクを入れずにディスクカバーを閉じたときに内部でモーター音が聞こえる。

- ディスクの有無を認識しているためで、故障ではありません。

次のページへつづく➡

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。本機の電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

バッテリー/電源について

電源が入らない。

- バッテリーが取り付けられていない。バッテリーを取り付ける（17ページ）。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（17ページ）。
- ACアダプターのプラグがコンセントから外れている。コンセントにつなぐ（17ページ）。

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（76ページ）か、もう1度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（17ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（17ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（17ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（17ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（17ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。

- 残量表示にずれが生じている、または充電が不充分。満充電し直すと残量が正しく表示される（17ページ）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（17ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が速いときは寿命のため、新しいバッテリーに交換する（17ページ）。

ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。

- 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつなぐ。

液晶画面/ファインダーについて

液晶画面またはファインダーに見慣れない画面が現れる。

- ［デモモード］になっている（72ページ）。液晶画面のどこかをタッチする、またはディスクや"メモリースティック　デュオ"を入れる。

見慣れない表示が出る。

- 警告表示、またはお知らせメッセージです（119ページ）。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたためで、故障ではありません。

液晶画面バックライトを「切」にできない。

- シンプル操作中は画面表示/バッテリーインフォボタンを長押しする操作はできません。シンプル操作を解除する（29ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（22、47ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節（キャリブレーション）する（130ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを動かす（21ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません。液晶画面を閉じる（21ページ）。

ディスクについて

ディスクが取り出せない。

- 電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する（17ページ）。
- バッテリーを外して、もう1度取り付ける（18ページ）。
- 充電されたバッテリーを取り付ける（17ページ）。
- ディスクに傷がある、または指紋などで汚れている。この場合は取り出しに最大10分程度かかることがある。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、涼しい場所で約1時間放置する（130ページ）。
- ファイナライズ中に本機の電源を切ったため。電源を入れ、ファイナライズを終了させる（50ページ）。

ディスク残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[残量表示]を[入]にする（76ページ）。

ディスク表示、記録フォーマット表示が灰色で表示される。

- 本機以外で作成されたディスクの可能性がある。本機で再生はできますが、追加記録はできません。

“メモリースティック　デュオ”について

操作を受け付けない。

- “メモリースティック　デュオ”を入れる（26ページ）。
- パソコンでフォーマット（初期化）した“メモリースティック　デュオ”を入れている場合は、本機で初期化する（72ページ）。

“メモリースティック　デュオ”の静止画を削除できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（127ページ）。
- レビュー画面では直前に撮影した静止画しか削除できません（44ページ）。
- 編集画面では、削除する静止画を1度に100枚までしか選択できません。
- 他機でプロテクトをかけた静止画は削除できません。プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除する。

“メモリースティック　デュオ”の静止画を全消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（127ページ）。

“メモリースティック　デュオ”を初期化できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（127ページ）。

データファイル名が正しくない。

- ディレクトリー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがある。
- ファイルが壊れている。ソニー製“メモリースティック　デュオ”をお使いのときは、下記のホームページをご覧ください。
  メモリースティック　データ復旧サービス
  http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/datarescue/jp.html
- 本機で対応していないファイル形式を使っている（127ページ）。

データファイル名が点滅している。

- ファイルが壊れている。ソニー製“メモリースティック　デュオ”をお使いのときは、下記のホームページをご覧ください。
  メモリースティック　データ復旧サービス
  http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/datarescue/jp.html
- 本機で対応していないファイル形式を使っている（127ページ）。

撮影について

「撮影時の画像調節について」（107ページ）もご覧ください。

スタート/ストップボタンやフォトボタンを押してもディスクに撮影できない。

- 再生画面になっている。▶ 見る/編集ボタン、または画面上の カメラ をタッチして撮影画面にする（30、36ページ）。
- 直前に撮影した画像をディスクに書き込んでいる。［キャプチャー］または▌▌▌▌表示中はフォトボタンを押せません（30、36ページ）。
- ディスクの空き容量がない。新しいディスクを入れるか、初期化する（DVD-RW/DVD+RWのみ）（58ページ）。または不要な画像を削除する（83ページ）。
- DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで、ディスクがファイナライズされている。追加記録可能な状態にする（57ページ）、または新しいディスクを入れる。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、約1時間放置する（130ページ）。

静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、静止画を記録することはできません。
  – ［なめらかスロー録画］
  – ［フェーダー］
  – ［デジタルエフェクト］
  – ［ピクチャーエフェクト］

次のページへつづく➡

“メモリースティック　デュオ”に撮影できない。

- 再生画面になっている。▶ 見る/編集ボタン、または画面上の カメラ をタッチして撮影画面にする（30、36ページ）。
- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（127ページ）。
- “メモリースティック　デュオ”の空き容量がない。新しい“メモリースティック　デュオ”を入れるか、初期化する（72ページ）。または不要な静止画を削除する（82ページ）。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をディスクに書き込んでいる。

電源スイッチの位置により画角が異なる。

- 静止画の画角は動画の画角より広くなる。

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- ［操作音］を［入］にする（76ページ）。

フラッシュが発光しない。

- 次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
  – デュアル記録中
  – ［COLOR SLOW S］
  – ［デジタルエフェクト］
  – コンバージョンレンズ（別売り）装着時
- 自動調節や ⊙（自動赤目軽減）にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  – NightShot
  – ［SUPER NS］
  – ［プログラムAE］の［スポットライト］、［サンセット＆ムーン］または［風景］
  – ［カメラ明るさ］
  – ［スポット測光］

別売りのフラッシュが発光しない。

- フラッシュの電源が入っていない。または、正しく取り付けられていない。

連写ができない

- 本機では連写をすることはできません。

実際の動画の録画時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を撮影すると、録画時間は短くなる（13、73ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切り、涼しい場所で約1時間放置する（130ページ）。

スタート/ストップボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、スタート/ストップボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがある。故障ではありません。

動画の比率が切り換えられない。

- DVD+RWでは、途中で比率を切り換えることができません。比率を変える場合は再び初期化する。

撮影時の画像調節について

「セットアップ項目の操作について」（110ページ）もご覧ください。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（66ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（66ページ）。

手ぶれ補正ができない。

- ［手ぶれ補正］を［入］にする（67ページ）。
- ［手ぶれ補正］が［入］になっていても、手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがある。

逆光補正ができない。

- ［カメラ明るさ］の［マニュアル］（64ページ）や、［スポット測光］（64ページ）を設定すると、逆光補正は解除される。
- シンプル操作中は、逆光補正ができません。シンプル操作を解除する（29ページ）。

画像を横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、非常に速く画像を横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- ［SUPER NS］、［COLOR SLOW S］のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（41ページ）。

次のページへつづく➡

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOTスイッチを「切」にする（41ページ）。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押したままにして液晶画面バックライトを点灯させる（21ページ）。

画像が明るくなる、横帯が現れる、色が変化する

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。[プログラムAE]（64ページ）を解除すると症状が軽減されます。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ぶれ補正]を[切]にする（67ページ）。

リモコンについて

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする（76ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れる（132ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- コンバージョンレンズ（別売り）を付けていると、リモコン受光部をさえぎり、受光を妨げることがある。コンバージョンレンズを外す。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

本機での再生について

ディスクを再生できない。

- 電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。
- 本機に対応したディスクかどうか確認する（12ページ）。
- 記録面を本機側に向けてディスクを装着する（24ページ）。
- 他機で記録したディスクは、本機で再生できないことがある。

ディスクの画像が乱れる。

- 付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（126ページ）。

“メモリースティック　デュオ”の静止画が正しい画像サイズで再生できない。

- 他機で撮影した静止画は、正しい画像サイズで表示されないことがある。故障ではありません。

“メモリースティック　デュオ”の静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合がある（ファイル名が点滅）。故障ではありません（128ページ）。
- 他機で撮影した静止画は、再生できないことがあります。故障ではありません（128ページ）。

ビジュアルインデックスの静止画に ? が表示される。

- ディスクが汚れている。付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（126ページ）。
- データの読み出しに失敗した可能性がある。電源を切ってもう1度入れたり、ディスクを入れ直したりすると正しく表示される場合がある。
- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した静止画などはこのように表示されることがある。

音声が小さい。または聞こえない。

- [バイリンガル]を[切]にする（73ページ）。
- 音量を大きくする（39ページ）。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開く。
- [マイク基準レベル]（74ページ）を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合がある。
- [なめらかスロー録画]では音声は記録されません。

他機でのディスク再生について

再生できない、またはディスクが認識されない。

- 付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（126ページ）。
- ディスクをファイナライズする（50ページ）。
- VRモードで記録すると再生できない機器がある。再生機器の取扱説明書で、互換性を確認する。

画像が乱れる。

- 付属のクリーニングクロスでディスクをきれいにする（126ページ）。

DVDメニューの画像に ? が表示される。

- ファイナライズ時にデータの読み出しに失敗した可能性がある。DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWの場合は、追加記録可能な状態にし（57ページ）、再びファイナライズでDVDメニューを作成すると（53ページ）、正しく表示される場合がある。

次のページへつづく➡

各場面のつなぎめで、再生画像が一瞬止まる。

- 再生するDVD機器によっては、場面のつなぎめで再生画像が一瞬止まることがある。故障ではありません。

⏮ ボタンを押しても、前の場面に移動しない。

- 本機で自動的に作成された2つのタイトルをまたぐと、⏮ ボタンを押しても場面に移動しないことがある。メニュー画面から選んで移動する。詳しくは再生機器の取扱説明書で確認する。

セットアップ項目の操作について

セットアップ項目が灰色で表示される。

- その項目は選択できません。

P.メニューが表示されない。

- シンプル操作中は使用可能なメニューが限られる。シンプル操作を解除する（29ページ）。

[プログラムAE]ができない。

- 次の設定のとき、[プログラムAE]は使えません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
  - [オールドムービー]

[スポット測光]ができない。

- 次の設定のとき、[スポット測光]はできません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
- [プログラムAE]を設定すると[スポット測光]は[オート]に戻る。

[カメラ明るさ]を手動で調節できない。

- 次の設定のとき、手動で明るさを調節できません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
- [プログラムAE]を設定すると、[カメラ明るさ]は[オート]に戻る。

[ホワイトバランス]を調節できない。

- 次の設定のとき、[ホワイトバランス]は調節できません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]

[スポットフォーカス]ができない。

- [プログラム AE]中は[スポットフォーカス]は使えません。

[SUPER NS]ができない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」になっていない。
- 次の設定のとき、[SUPER NS]は使えません。
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]

[COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあるため、NightShotまたは[SUPER NS]で撮影する。
- 次の設定のとき、[COLOR SLOW S]は使えません。
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [プログラムAE]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]

[セルフタイマー]ができない。

- [フェーダー]中は[セルフタイマー]は使えません。

[フェーダー]ができない。

- 次の設定のとき、[フェーダー]は使えません。
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]

[デジタルエフェクト]ができない。

- 次の設定のとき、[デジタルエフェクト]は使えません。
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [フェーダー]
- 次の設定のとき、[オールドムービー]は設定できません。
  – [プログラムAE]
  – [ピクチャーエフェクト]

[ピクチャーエフェクト]ができない。

- [オールドムービー]設定中は[ピクチャーエフェクト]は使えません。

次のページへつづく➡

[なめらかスロー録画]ができない。

- 次の設定のとき、[なめらかスロー録画]は使えません。
  –[SUPER NS]
  –[COLOR SLOW S]
  –[デジタルエフェクト]
  –[ピクチャーエフェクト]

[静止画記録先]を設定できない。

- 動画記録中は[静止画記録先]を設定できません。

[サラウンドモニター]が表示できない。

- 5.1chサラウンド記録をしていないとき、または[フェーダー]中は[サラウンドモニター]は表示できません。

[パネルバックライトレベル]を調節できない。

- 電源をACアダプターから供給している、または撮影画面で、液晶画面を外側に向けて本体におさめていると[パネルバックライトレベル]は調節できません。

本機でのディスク編集について（DVD-RW：VRモード）

DVD-R/DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWでは本機でのディスク編集はできません。

編集できない。

- 画像が記録されていない。
- 画像の状態により編集ができなくなっている。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）されたディスクは編集できない。

プレイリストに追加できない。

- ディスクの空き容量がない、または追加した画像数が999を超えている。不要な画像を削除するか、静止画を1つの動画ファイルに変換する（フォトムービー、87ページ）。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- のついた画像は分割できません（83、86ページ）。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた動画は分割できません。

削除できない。

- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた画像は削除できません。

ダビング/外部機器接続について

テレビにつないで見るときに正しい画像の比率で再生できない。

- [TVタイプ]をテレビに合わせて設定する(48ページ)。

つないだ機器(外部入力)の映像が、液晶画面やファインダーに映らない。

- P.メニュー →[録画操作]をタッチする(90ページ)。

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機ではズームできません。

音声が聞こえない。

- S(S1、S2)映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(90ページ)。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の画像を本機へダビングする場合は他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へつながれているか確認する(88、90ページ)。

ディスクを12cm DVDにコピーできない。

- 付属のソフトウェア「Nero Express 6」を使う。詳しくは、付属の「Nero Express 6」の取扱説明書をご覧ください。

PictBridge対応のプリンターでプリントできない。

- 他機で撮影した画像はプリントできないことがあります。故障ではありません。

その他

画像の削除ができない。

- DVD-Rでは削除できません。
- DVD-RW(VIDEOモード)/DVD+RWでは、直前に撮影した画像以外は削除できません(44ページ)。
- シンプル操作中は、画像の削除ができません(29ページ)。
- 他機でプロテクトをかけた"メモリースティック　デュオ"の画像は削除できません。

静止画のコピーができない。

- ファイナライズされたDVD-R/DVD-RW(VIDEOモード)/DVD＋RWにはコピーできません。DVD-RW(VIDEOモード)/DVD+RWは追加記録可能な状態にする(57ページ)。
- コピー先のディスク、または"メモリースティック　デュオ"の空き容量が足りない。不要な画像を削除する(82、83ページ)。

次のページへつづく➡

- コピー先が誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”のときは、誤消去防止を解除する（127ページ）。
- 他機で撮影/編集された静止画はコピーできないことがある。

ファイナライズができない。

- バッテリーを使用している。ACアダプターを使用する。
- ディスクがすでにファイナライズされている。DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWは追加記録可能な状態にする（57ページ）。

他の機器でディスクに追加記録や編集ができない。

- 本機で録画したディスクは、他の機器では追加記録や編集ができない場合がある。

ディスクタイトルを入れられない。

- DVD-Rはファイナライズ後にディスクタイトルは入れられません。
- DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWで、ディスクがファイナライズされている。追加記録可能な状態にする（57ページ）。
- ディスクタイトルが本機以外で作成されているときは、本機で入れられないことがある。

フォトムービーを作成できない。

- 静止画が記録されていない。
- 静止画の撮影枚数が極端に多く、ディスクの空き容量が少ない。不要な画像を削除する（83ページ）。

操作音が5秒間鳴り続けている。

- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 結露している。電源を切って1時間放置してからもう1度電源を入れる（130ページ）。
- 本機に異常が発生している。ディスクを入れ直して再び操作する。

ファイナライズ解除ができない。

- DVD-R/DVD-RW（VRモード）/DVD+RWではファイナライズ解除はできません（57ページ）。
- シンプル操作に設定されている。シンプル操作を解除（29ページ）してから、ファイナライズ解除（57ページ）を行う。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンと本機からケーブルを抜き、もう1度しっかりと差し込む。
- 本機、キーボード、マウス以外の、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。

ディスクの画像を扱うときに、本機がパソコンに認識されない。

- Picture Packageをインストールする（97ページ）。
- 次の手順でUSBドライバが正しくインストールされているか確認する。

Windows XPの場合

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリックする。
システムプロパティ画面が表示される。

3 ［ハードウェア］タブをクリックする。

4 ［デバイスマネージャ］をクリックする。
デバイスマネージャ画面が表示される。

5 次のデバイスが表示されることを確認する。
– ［DVD/CD-ROM ドライブ］の中に ［SONY DDX-C1002 USB デバイス］
– ［記録域ボリューム］の中に ［汎用ボリューム］
– ［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］の中に ［USB大容量記憶装置デバイス］
全てのデバイスが表示されればUSBドライバーは正常にインストールされています。もし表示されない場合は次の操作でUSBドライバーをインストールしてください。

① 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ、マイコンピュータを開く。
② CD-ROMドライブアイコンを右クリックし、開くをクリックする。
③ ［DVD Driver］→［Setup.exe］をダブルクリックする。
インストールが始まる。

困ったときは

次のページへつづく➡

Windows 2000の場合

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］をクリックする。
システムプロパティ画面が表示される。

3 ［ハードウェア］タブをクリックする。

4 ［デバイスマネージャ］をクリックする。
デバイスマネージャ画面が表示される。

5 次のデバイスが表示されることを確認する。
– ［DVD/CD-ROM ドライブ］の中に ［SONY DDX-C1002 USB デバイス］
– ［記録域ボリューム］の中に ［汎用ボリューム］
– ［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］の中に ［USB大容量記憶装置デバイス］
全てのデバイスが表示されればUSBドライバーは正常にインストールされています。もし表示されない場合は次の操作でUSBドライバーをインストールしてください。

① 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ、マイコンピュータを開く。
② CD-ROMドライブアイコンを右クリックし、開くをクリックする。
③ ［DVD Driver］→［Setup.exe］をダブルクリックする。
インストールが始まる。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、エラーメッセージが出る。

- パソコンのディスプレイを次のように設定する。
–800×600ドット、High Color（16bitカラー65 000色）以上

Macintoshパソコンで使えない。

- 付属のソフトウェア「Picture Package」はMacintoshには対応していません。

本機の画像がパソコンで見られない。

- USB端子の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- 本機の電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。
- セットアップ項目の［USB機能選択］→［ パソコン接続］を選択する（71ページ）。

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取りはずす。

“メモリースティック デュオ”の静止画がパソコンで見られない。

- “メモリースティック デュオ”の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- セットアップ項目の[USB機能選択]→[パソコン接続]を選択する(71ページ)。
- ディスク再生中や編集中など、本機を操作していると“メモリースティック デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう1度つなぐ。

“メモリースティック”のアイコン([リムーバブル ディスク])がパソコン画面に表示されない。

- 本機の電源を入れ、▶見る/編集ボタンを押す。
- 本機に“メモリースティック デュオ”を入れる。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取りはずす。
- セットアップ項目の[USB機能選択]→[パソコン接続]を選択する(71ページ)。
- ディスク再生中や編集中など、本機を操作していると“メモリースティック デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、本機とパソコンをもう1度つなぐ。

本機の液晶画面に[シンプル操作に設定できません]または[シンプル操作を解除できません]と表示される。

- USB接続中はシンプル操作の設定、解除はできません。USBケーブルを外してから行う。

本機からパソコンへ画像が正しく転送されない。

- セットアップ項目の[USBスピード]を[フルスピード固定]にする(75ページ)。

本機の画像や音声がパソコンで正しく再生されない。

- Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)に未対応のパソコンに接続した場合は、正しく再生されない場合がある。パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。
- 本機の設定項目の[USBスピード]が[フルスピード固定](75ページ)に設定されている場合は、正しく再生されない場合がある。パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。
- お使いのパソコンによっては、再生画像や音声が一時的に停止することがある。パソコンに取り込む画像や音声に影響はありません。

パソコンから本機のディスクへ書き込みができない。

- 本機に対応していないディスクを入れている。本機に対応したディスクを使う(12ページ)。
- PicturePackage以外のソフトウェアから本機のディスクへの書き込みはできません。

次のページへつづく➡

パソコンから本機内の“メモリースティック デュオ”に転送したファイルが書き込まれていない。

- USBケーブルを正しい手順で取り外していない。本機とパソコンをもう一度つないで転送する。

Picture Packageが正しく動作しない。

- Picture Packageを終了し、パソコンを再起動する。
- 対応しているOSを確認する（96ページ）。

Picture Packageを使用中にエラーメッセージが出る。

- 本機の電源スイッチは、パソコンのPicture Packageを終了させてから切り換える。

ディスクを12cm DVDにコピーできない。

- 付属のソフトウェア「Nero Express 6」を使う。詳しくは、付属の「Nero Express 6」の取扱説明書をご覧ください。
- 付属のソフトウェア「Nero Express 6」で、複数のディスクを1枚の12cm DVDにコピーすることはできません。

「ファーストステップガイド」が正しく表示されない。

- 次の手順で「ファーストステップガイド」（FirstStepGuide.pdf)をご覧ください。

1 付属のCD-ROMをパソコンのディスクドライブに入れる。

2 ［マイコンピュータ］をダブルクリック。

3 ［PICTUREPACKAGE（E:)］（ディスクドライブ）*を右クリック。

* ドライブ文字（(E:)など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 ［エクスプローラ］をクリック。

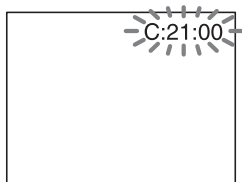
5 ［FirstStepGuide］をダブルクリック。

6 ［JP］をダブルクリック。

7 ［FirstStepGuide.pdf］をダブルクリック。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーには、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う（129ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（17ページ）。

C:13:□□

- ディスクが不良である。本機に対応したディスクを入れる（12ページ）。
- ディスクに汚れや傷がある。汚れている場合は付属のクリーニングクロスできれいにする（126ページ）。

C:21:□□

- 結露している。電源を切り、約1時間放置する（130ページ）。

C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。ディスクを入れ直し、もう1度操作し直す。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- 電源を入れ直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:40:□□/ E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

100-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（ディスク関連の警告）

遅い点滅

- ディスクが入っていない。*
- 動画撮影時にディスク残量が5分を切った。
- 静止画撮影時にディスク残量が30枚を切った。

速い点滅

- 認識できないディスクが入っている。*
- 撮影画面で、ファイナライズされたDVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWを入れた。*
- ディスクの容量がいっぱいである。*
- 片面のディスクを裏表逆にしているため、読み出しや記録ができない。
- 電源スイッチが（動画）のときに、本機と異なるテレビカラーシステムで記録されたディスクが入っている。*

⏏（ディスクを取り出す必要がある警告）*

速い点滅

- 本機では認識できないディスクが入っている。
- ディスクの容量がいっぱいである。
- 本機のディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

困ったときは

次のページへつづく➡

（バッテリー残量に関する警告）

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

（結露の警告）*

速い点滅

- 結露している。
  電源を切り、約1時間放置する（130ページ）。

（温度の上昇関連の警告）

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

（“メモリースティック　デュオ”関連の警告）

- “メモリースティック デュオ”が入っていない（26ページ）。

（“メモリースティック　デュオ”初期化関連の警告）*

- “メモリースティック　デュオ”が壊れてい る。
- “メモリースティック　デュオ”が正しく初期化されていない（72、127ページ）。

（非対応“メモリースティック　デュオ”関連の警告）*

- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた（127ページ）。

（“メモリースティック デュオ”誤消去防止に関する警告）*

- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止状態になっている（127ページ）。

（フラッシュ関連の警告）

遅い点滅

- フラッシュ充電中

速い点滅*

- フラッシュに異常がある。

（手ぶれ警告）

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ぶれが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ぶれマークは消えません。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります（76ページ）。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ バッテリー

“インフォリチウム”バッテリーを使ってください（129ページ）

バッテリーを取りかえてください
（17、129ページ）

このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（129ページ）

■ ドライブ

⏏ドライブエラーが発生しました　電源を入れ直してください

- ディスクドライブに異常が発生した可能性がある。電源を切り、もう1度入れ直す。

■ 結露

結露しています　約1時間放置してください（130ページ）

結露しています　しばらくしてからディスクを取り出してください（130ページ）

■ ディスク

高温のためディスクに記録できません

高温のためディスクは取り出せません　しばらくお待ちください

⏏ ディスクに記録できません

- ディスクに異常があり、記録できない。

動画用ディスク領域がいっぱいです　動画の記録はできません

- 不要な画像を削除する（83ページ）。

このディスクはシーン数がいっぱいです　記録できません

- 不要な画像を削除する（83ページ）。

⏏ ディスクがいっぱいです　記録できません

- 不要な画像を削除する（83ページ）。

動画の記録はできません

- ディスクの状態により、動画の記録ができなくなっている。静止画は記録できる場合がある。

ディスクに静止画の記録はできません

- ディスクの状態により静止画の記録ができなくなっている。動画は記録できる場合がある。

再生できません

- 本機に対応していないディスクは再生できません。

⏏ ファイナライズ済みディスクです　記録できません

- ファイナライズ済みのDVD-Rには記録できません。他のディスクを使う。

⏏ ディスクに記録できません　追加記録するにはファイナライズ解除してください

- ファイナライズ済みのDVD-RW（VIDEOモード）をファイナライズ解除する（57ページ）。

このディスクは動画のワイド切換ができません　ディスク初期化時に設定できます（58ページ）

このディスクは動画を16:9で記録します　ディスク初期化時に設定できます（58ページ）

このディスクは動画を4:3で記録します　ディスク初期化時に設定できます（58ページ）

ディスクを入れてください　または静止画記録先をメモリースティックにしてください（24、31、37ページ）

非対応ディスクです　記録はできません

データを修復できませんでした　ディスクを初期化してください

ディスクが認識できません　取り出してください

- 本機に対応していないディスクが入っている。またはディスクに傷がある、片面ディスクが裏返しに入っているなどの原因で、認識ができない状態になっている。

フォーマットエラーのディスクです

- 本機と異なるフォーマットのディスクが入っている。DVD-RW/DVD+RWは初期化をすれば使える場合もある（58ページ）。

データエラーが発生しました

- ディスクへの書き込み中/読み出し中にエラーが生じた。

ディスクへのアクセスに失敗しました

- ディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。

■ "メモリースティック　デュオ"

メモリースティックを入れなおしてください

- "メモリースティック　デュオ"を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは"メモリースティック　デュオ"が壊れている可能性があるので交換する。

読み出し専用のメモリースティックです

- 書き込みができる"メモリースティック　デュオ"を入れる。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない"メモリースティック　デュオ"が入っている（127ページ）。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- "メモリースティック　デュオ"のフォーマットを確認し、必要ならば本機で初期化する（72、127ページ）。

このメモリースティックは空き容量がたりません　これ以上は記録できません

- 不要な画像を消す（82ページ）。

静止画記録できない状態です（127ページ）

メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください（127ページ）

再生できません　メモリースティックを入れなおしてください（26ページ）

記録できません　メモリースティックを入れなおしてください（26ページ）

メモリースティックが抜かれました　処理を中断します

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか（72ページ）、パソコンで不要なフォルダを消去する。

書き込み中にメモリースティックが抜かれました　データが壊れた可能性があります

メモリースティックを入れてください または静止画記録先をDVDにしてください（26、31、37ページ）

動画録画中の静止画記録可能枚数を超えました

- デュアル記録で、一度の動画撮影での撮影可能枚数（3枚）以上の静止画を撮影しようとした（41ページ）。

静止画の記録ができませんでした

- デュアル記録をしたときは、ディスク撮影を終了して静止画記録が完了するまで本機から"メモリースティック　デュオ"を取り出さない（41ページ）。

■ PictBridge対応プリンター

接続先を確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

PictBridge対応プリンターと接続されていません

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

異常が確認されました　中止してください

- プリンターを確認する。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

■ フラッシュ

充電中です　静止画記録はできません

- フラッシュの充電中は静止画を記録できない。

フラッシュが充電できません　フラッシュは使用できません

- フラッシュに異常があり充電できない。

レンズアクセサリーが装着されています フラッシュ発光できません

■ レンズカバー

レンズカバーが開ききっていません　電源を入れなおしてください（20ページ）

レンズカバーを閉じられませんでした レンズカバーを閉じたい場合は電源を入れなおしてください
（20ページ）

■ シンプル操作

シンプル操作に設定できません
（29ページ）

シンプル操作を解除できません
（29ページ）

シンプル操作中は無効です
（29ページ）

シンプル操作中はこのディスクに記録できません

- シンプル操作中にファイナライズ済みのDVD+RWに記録しようとしている。シンプル操作を解除してから、追加記録可能な状態にする（57ページ）。

■ その他

ACアダプターを使用してください

- バッテリー残量が少ない状態で、ファイナライズ、初期化、追加記録をしようとしている。途中で電源が切れないようにACアダプターを使用する。

ACアダプタを交換、または挿しなおしてください(17ページ)

これ以上選択できません(80、81ページ)

- プレイリストには999までしか画像を追加できません。
- ディスクまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量が少ない。

このチャプターは分割できません*

- 静止画から変換されたのついた動画は分割できない。
- 極端に短い動画は分割できません。

このデータはプロテクトされています

- 他機でプロテクト(誤消去防止)されたディスクを使っている。

ダビングプロテクトされています　録画できません

- 著作権保護のための信号が記録されている映像は録画できません。

空き容量が足りません(80、81ページ)

このファイルはコピーできません(80、81ページ)

予期せずディスクカバーが開きました 電源を入れなおしてください

データ修復中　⚠振動を与えないでください

- 本機では、ディスクに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

ディスクのデータを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。ディスクへの書き込みや編集ができなくなる場合がある。

電源を入れなおしてください

しばらくお待ちください

- ディスク取り出し処理に時間がかかる場合に表示される。振動を与えないようにしてそのまましばらく(約10分)放置してください。

ディスクに異常が発生した可能性があります

- ディスク取り出し処理に失敗し、ディスクに異常が発生した可能性がある。

* 本機では、スタート/ストップボタンを押して記録を開始してから終了するまでの画像の区切りのことをチャプターと言います。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

カラーテレビ方式について

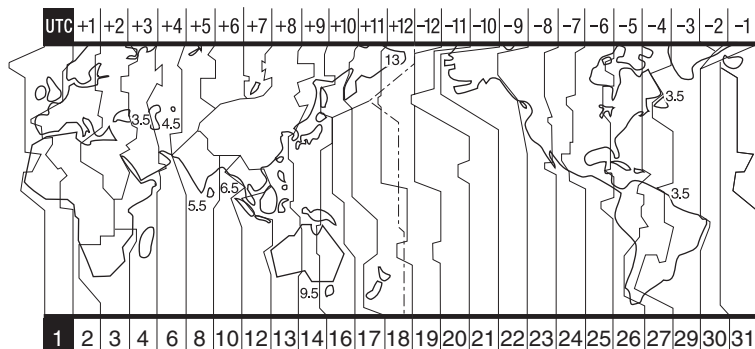
再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ 方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、 時間設定の[エリア設定]と[サマータイム]を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（23ページ）。

世界時刻表

ディスクについて

本機で使用できるディスクの種類について詳しくは、12ページをご覧ください。

ディスク使用時のご注意

- ディスクは記録/再生面（片面ディスクの場合は印刷されていない面）に手を触れないように持ってください。

- 撮影の前にディスクの汚れ、指紋などを付属のクリーニングクロスで拭き取ってください。ディスクの状態によっては正常な記録/再生ができない場合があります。
- ディスクを装着する際は、カチッという音がするまで確実に取り付けてください。本機の液晶画面に[C:13:□□]が表示された場合は、ディスクカバーを開け、もう1度ディスクを装着し直してください。
- ディスクには、ラベルなどの粘着性のあるものを貼らないでください。ディスクのバランスが崩れると回転ムラが生じ、故障の原因となることがあります。

お手入れと保管

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 付属のクリーニングクロスでディスクの中心から外側へ向かって軽く拭きます。汚れのひどいときは、水で少し湿らせたやわらかい布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭きとってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

- 直射日光が当たるなど温度の高い場所や、湿度の高い場所には置かないでください。
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。
- 片面ディスクに文字などを記入する場合は、印刷されている面に記入してください。ボールペンなどの硬いものは避け、油性フェルトペンで記入し、インクが乾くまで放置してください。また、加熱による乾燥は避けてください。両面ディスクには記入できません。

8cm DVD+RW 再生に関してのご注意

一部のDVD プレーヤー／レコーダー／パソコン等では、8cm DVD+RW を再生できない可能性があります。

また、以下のソニー製DVDレコーダー及びソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズは、8cm DVD+RW の再生に対応していません。

- DVD レコーダー
  – RDR-HX10/HX8/HX6/GX5
  – DESR-7100/5100/7000/5000
- ソニーパーソナルコンピューターVAIO シリーズ
  – 2004 年4 月及びそれ以前に発売されたVAIO

その他、DVDプレーヤーを含めたソニー製各DVD関連商品での再生可否については、「Sony DVD Guide」の「再生対応表」をご覧ください。

http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

上記をご覧いただき、8cm DVD+RW の再生に対応していない機種をお使いのお客様は、本機での撮影の際に、8cm DVD-R/-RW をご使用ください。

- 8cm DVD+RW が再生可能な機器の場合も、ディスクの状態やピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。
  （06年1月時点）

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽いのに、フロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック　デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック（マジックゲート非対応）	—
メモリースティック デュオ[*1]（マジックゲート非対応）	○
マジックゲートメモリースティック	—
メモリースティック デュオ[*1]（マジックゲート対応）	○[*2*3]
マジックゲート メモリースティック デュオ[*1]	○[*3]
メモリースティック PRO	—
メモリースティック PRO　デュオ[*1]	○[*2*3]

[*1] 標準の約半分大のサイズです。

[*2] 高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。転送速度はお使いになる機器により異なります。

[*3] “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

- 静止画の圧縮形式：本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 静止画の画像のデータファイル名：
  – 本機の画面表示：101-0001
  – パソコンの画面表示：DSC00001.JPG
- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック　デュオ”では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。

取り扱い上のご注意

次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック　デュオ”にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック　デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 取り扱いについて

次のことを守ってください。

- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック　デュオ”本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック　デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

次のページへつづく➡

- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- メモリースティック　デュオスロットには、“メモリースティック　デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

■ 使用場所について

次の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック　デュオ　アダプターの使用について

“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ アダプターに挿入すると、標準の“メモリースティック”対応機器でもお使いになれます。

- “メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック　デュオスロットが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに“メモリースティック　デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック　PRO　デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック　PRO　デュオ”は2GBまでです。
- 使用可能な“メモリースティック”の最新情報につきましてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（裏表紙）。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック　デュオ”が本機で使えないときは、72ページの手順にしたがい本機で初期化をしてください。初期化すると“メモリースティック　デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – パソコンで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー(Pシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリーPシリーズには InfoLITHIUM P マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売りのACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取り外してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FP71/NP-FP90」(別売り)を使う
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FP71/NP-FP90」(別売り)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にDVD-RW/DVD+RWでためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、 基本設定で[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(76ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

取り扱い上のご注意とお手入れ

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- 本機からディスクを取り出しておいてください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるピックアップレンズやディスクに水滴が付くことで、故障の原因になります。結露が起こると、[結露しています約1時間放置してください]/[結露しています　しばらくしてから取り出してください]と警告表示が出ます。
カメラレンズに結露が起きた場合は警告表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないで下さい。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

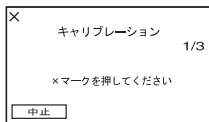
液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、付属のクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

画面調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① 本機の電源を入れ、▶ 見る/編集ボタンを押す。

② 本機からACアダプター以外のケーブル類を外し、ディスクと"メモリースティック デュオ"を取り出す。

③ P.メニュー →[セットアップ]→ 基本設定 →[キャリブレーション]をタッチ。

④ "メモリースティック デュオ"の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークをタッチ。
解除するには[中止]をタッチ。
×マークの位置は変わります。

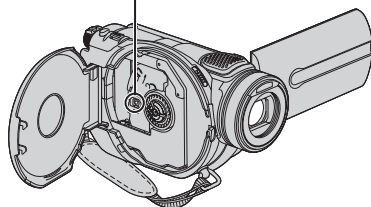
正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  – 上記が手に付いたまま本機を扱う
  – ゴムやビニール製品との長時間接触

ピックアップレンズについて

- 本機のピックアップレンズ(ディスクカバーの内側)に触れないでください。また、ほこりがつかないように、ディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。
- ピックアップレンズが汚れて本機が動作しなくなったときは、市販のブロアーを使ってクリーニングしてください。ピックアップレンズに直接触れてのクリーニングはしないでください。故障の原因となります。

ピックアップレンズ 用語集(140ページ)へ

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

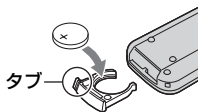
内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

“メモリースティック　デュオ”を廃棄／譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック　デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。廃棄／譲渡の際は、“メモリースティック　デュオ”本体を物理的に破壊するか、市販のパソコンによるデータ消去専用ソフトなどを使って“メモリースティック　デュオ”内のデータを完全に消去することをおすすめします。

主な仕様

システム

映像圧縮方式
MPEG2/JPEG（静止画）

音声圧縮方式
Dolby Digital2/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

映像信号
NTSCカラー、EIA標準方式

使用可能ディスク
8cmのDVD-R/DVD-RW/DVD+RW

記録フォーマット

動画
DVD-R:　DVD-VIDEO
DVD-RW:　DVD-VIDEO（VIDEOモード）
DVD-Video Recording（VRモード）
DVD+RW:　DVD+RW Video

静止画
Exif Ver.2.2[*1]

録画/再生時間
HQ：約20分　SP：約30分　LP：約60分

ファインダー
電子ファインダー：カラー

撮像素子
5.9mm（1/3型）CMOSセンサー
記録画素数：静止画時 最大400万画素相当[*2]
（2 304×1 728）（4：3時）
総画素数：約210万画素
4:3動画有効画素数：約191万画素
16:9動画有効画素数：約143万画素
4:3静止画有効画素数：約199万画素
16:9静止画有効画素数：約149万画素

レンズ
カール ツァイス　バリオゾナー T∗
10倍（光学）、20倍、120倍（デジタル）
フィルター径30mm
F値＝1.8-2.9
f（焦点距離）：5.1-51mm

35mmカメラ換算：

動画撮影時[*3]
41.3-485mm（16：9）
37.9-445mm（4：3）

静止画撮影時
40.4-404mm(16:9)
37-370mm（4：3）

色温度切り換え
［オート］、［ワンプッシュ］、［屋内］（3 200K）、［屋外］（5 800K）

最低被写体照度
6 lx（ルクス）（F1.8）
0 lx（ルクス）（NightShot時）

[*1] （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット

[*2] ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメージングプロセッサーにより、有効画素に対して2倍の静止画記録サイズを実現しています。

[*3] 広角画素読み出しによる実動作値

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

入/出力端子

A/V端子
10ピン特殊コネクター
入力/出力自動切り換え
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡
Y出力　1Vp-p、75Ω不平衡
C出力　0.286Vp-p、75Ω不平衡
音声：327mV（47 kΩ負荷時）、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下

USB端子
mini-B

REMOTE
ステレオミニミニジャック（リモート）端子（ø2.5mm）

液晶画面

画面サイズ
8.8cm（3.5型 アスペクト比 16:9）

総ドット数
211 200ドット　横960×縦220

電源部、その他

電源電圧
バッテリー端子入力7.2V
DC端子入力8.4V

消費電力
液晶画面使用時：4.5W
ファインダー使用時：4.2W

動作温度
0℃～+40℃

保存温度
－20℃～+60℃

次のページへつづく➡

外形寸法
66×90×147mm(幅×高さ×奥行き)
(最突起部を除く)

本体質量
約 540g(本体のみ)
約 630g(バッテリーパック、ディスクを含む)

付属品
16ページをご覧ください。

ACアダプター　AC-L200

電源
AC100～240V、50/60Hz

消費電力
18W

定格出力
DC8.4V*

動作温度
0℃～+40℃

保存温度
−20℃～+60℃

外形寸法
約48×29×81mm(幅×高さ×奥行き)
(最大突起部をのぞく)

質量
約170g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FP60

最大電圧
DC8.4V

公称電圧
DC7.2V

容量
7.2wh(1 000mAh)

最大外形寸法
約31.8×33.3×45.0
(幅×高さ×奥行き)

質量
約80g

使用温度
0℃～+40℃

使用電池
Li-ion

デザインや仕様は予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター(裏表紙)にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

火災
感電

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り外してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

禁止

指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

火災やけがの原因となることがあります。

禁止

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中及び消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

禁止

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

禁止

火災
感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続･配置してください。

指示

通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

禁止

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクやハート型、八角形など特殊形状のディスクは使わない

高速回転により飛び出して怪我の原因となることがあります。

次のページへつづく→

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

区分	内容	表示
⚠危険	● バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。 ● 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 ● 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 ● 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 ● 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
	● 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 ● ボタン電池は充電しないでください。	
	● 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取り外しておく。	

お願い	リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。 Li-ion　Li-ion Ni リチウムイオン電池 **充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については** 有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

用語集

■ 12cmディスク
直径12cmのディスクです。本機では12cmディスクを使用することはできません。

■ 5.1chサラウンド音声(5.1チャンネル　サラウンド音声)
フロント側(左/右/センター)、リア側(左/右)の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。サブウーファーは再生帯域が狭いことから、0.1chと称されます。左右の音の動きを表現するステレオ音声に比べて、立体的で臨場感のある音を再現します。

■ 8cmディスク
直径8cmのディスクです。本機では8cmディスクを使用します。

■ DVD-R
書き換えができないディスクです。主に書き換える必要のない保存用として使用します。他のDVD機器との再生互換性に優れていることが特徴です。ファイナライズ前であれば、ディスクの空き領域に追加記録ができます。ただし、1度ファイナライズすると記録容量が残っていても追加記録はできなくなります。

■ DVD-RW
書き換えが可能なディスクです。他のDVD機器との再生互換を重視したVIDEOモードと、録画後に本機で多彩な編集ができるVRモードの2種類の記録フォーマットを選ぶことができます。

■ DVD+RW
書き換えが可能なディスクです。他のDVD機器との再生互換性が高く、ファイナライズ操作は不要で、いつでも追加記録が出来ます。

■ DVDメニュー
DVDプレーヤーなどで再生するときに、見たいシーンをすぐに選べるように表示させるメニュー画面のことです。本機でDVDメニューを作成すると、各場面の冒頭が日付入りで表示されます。

■ JPEG(ジェイペグ)
Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画データの圧縮(データ容量を小さくする)方法のことです。本機では、静止画をJPEG形式で記録します。

■ MPEG2(エムペグ　ツー)
Moving Picture Experts Groupの略で、映像(動画)および音声の符号化(画像圧縮の方法)に関する規格の総称です。MPEG1(標準画質)、MPEG2(高画質)などの規格があります。本機では、動画をMPEG2形式で記録します。

■ VBR
Variable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節させる記録方式です。動きの速い映像はディスクの容量を多く使い鮮明な画像を記録するので、記録時間は短くなります。

■ VIDEOモード
DVD-RWを使うときに選択する記録フォーマットの1つで、他のDVD機器との再生の互換性に優れていることが特徴です。

■ VRモード
DVD-RWを使うときに選択する記録フォーマットの1つで、本機での編集(画像の削除や、並び替え)ができるのが特徴です。ファイナライズをすると、VRモードに対応したDVD機器で再生できます。

次のページへつづく➡

■ オリジナル
本機で撮影してディスクに記録された動画や静止画を「オリジナル」といいます。

■ サムネイル
多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」や「DVDメニュー」がサムネイルを使った表示方法です。

■ 初期化(フォーマット)
記録した画像をすべて削除してディスクの記憶容量を元に戻し、再び書き込み可能な状態にすることです。

■ ディスクタイトル
記録したディスクにつけるタイトル(名前)のことです。

■ ドルビーデジタル
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声の符号化(圧縮方法)形式です。
5.1チャンネルのサラウンド音声から、2チャンネルステレオ、モノラルなど、さまざまな形式で音声を収録することができます。

■ ドルビーデジタル5.1クリエーター
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声圧縮技術です。高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮します。ディスクのスペースを有効に使いながら、5.1chサラウンド音声が作成できます。またドルビーデジタル5.1クリエーターで作成されたディスクは、本機のディスクと互換性のあるDVDレコーダー/DVDプレーヤーで再生できます。5.1chサラウンドシステム(ホームシアターシステムなど)をお持ちの場合、より迫力のある音を楽しめます。

■ ビジュアルインデックス
撮影した動画や静止画の一覧を表示して、映像を見ながら再生したい場面を選ぶことができる機能です。

■ ピックアップレンズ
ディスクに記録されている信号を光学的に読み取る部分のことです。

■ ファイナライズ
本機で画像を記録したディスクを、他のDVD機器で再生できるように互換処理をすることです。DVD-R/DVD-RWを他の機器で再生する場合は、必ず事前にこの処理を行わなければなりません。

■ ファイナライズ解除
記録容量がまだ残っている状態でファイナライズしたディスクを、再び録画できるようにする処理のことです。

■ フォトムービー
ディスク内の静止画(JPEG形式)をディスクに残したまま、他のDVD機器やパソコンで再生できるように、動画(MPEG形式)に変換して新たに保存することです。
JPEGの再生に対応していないDVD機器で静止画を再生したいときは、フォトムービーの作成が必要です。
フォトムービーに変換された静止画は、スライドショーのように連続再生されます。ただし、解像度は多少下がります。

■ プレイリスト
オリジナルの動画/静止画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。記録したオリジナル画像には手を加えずに、画像の削除、動画の分割、再生の順序変更などの編集ができます。

■ 両面ディスク
表面と裏面の両方に記録できるディスクです。

■ 録画モード
動画を撮影する前に「録画モード」で画質を選ぶことができます。HQ(高画質)/SP(標準画質)/LP(長時間録画)の3段階から選びます。高画質になるほど録画時間は短くなります。

索引

ア行

カ行

サ行

次のページへつづく➡

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

数字

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“メモリースティック　デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGateMemory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック　デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- Picture Packageはソニー株式会社の商標です。
- DVD-R、DVD-RW、DVD+RWロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Media Playerは、MicrosoftCorporationの商標です。
- iMac、iBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、PowerMacはAppleComputer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- MacromediaおよびMacromedia Flash Playerは、Macromedia Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Nero 6、およびNero AGが開発したその他のソフトウェア製品はNero AG、その子会社および関連会社の登録商標です。Copyright ©Nero AGおよびその実施許諾者 1996-2005

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では.TM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア（Picture Package）のサポート情報
http://www.ppackage.com/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

テクニカルインフォメーションセンター

- **ナビダイヤル** 0570-00-0066
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHSでのご利用は** 0564-62-4979
  （ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください）

受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後8時　土、日曜日、祝日　午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

Picture Packageに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
【電話番号】06-6633-3900
受付時間：　月～日曜日　午前9時～午後5時（年末、年始、祝日を除く）

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

> 登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
> 詳しくは下記のURLをご覧ください。
> http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed in Japan